坂井市の保健衛生

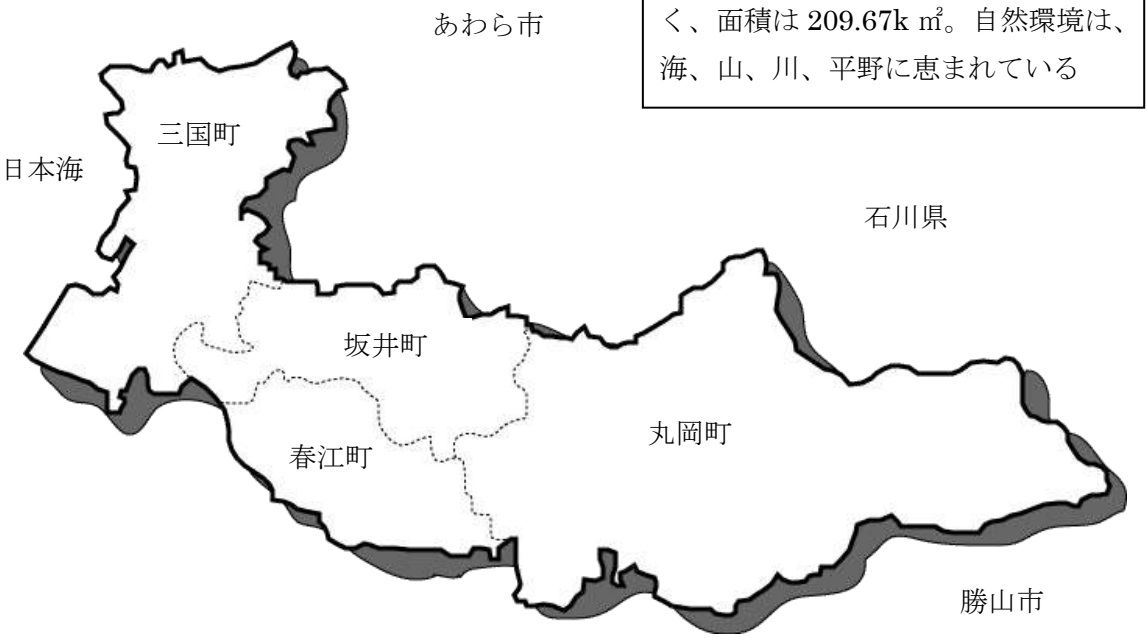
令和３年度統計

令和５年６月

坂井市健康増進課

坂井市紹介

福井県の北部に位置し、南北17.26km、東西30.602kmと東西に長く、面積は209.67k㎡。自然環境は、海、山、川、平野に恵まれている



市章

坂井市のイニシャル「S」と日本海をモチーフにデザイン化しています。豊かな自然の緑を基調として、坂井平野と日本海を照らし出す太陽に明日への熱い情熱を重ねています。

主役である市民と市が一緒になって「輝く未来へ…みんなで創る希望の都市」を目指します。躍動感と力強さを表現します。

市民憲章

彩り豊かな海・山・川と市民が融和する坂井市
大空へ伸びる緑の木々のように　希望に満ちたまちの実現に向けて
ここに市民憲章を定めます。

一　青い日本海のすがすがしさ　自然と住みよい環境に恵まれた　坂井
一　白いユリのやさしさ　人々のきずなと安心が広がる　坂井
一　黄金（こがね）波打つ平野の温もり　感謝と思いやりの心を育む　坂井
一　桜に浮かぶ古城の気高さ　誇りある歴史と文化が息づく　坂井
一　真っ赤な太陽の輝き　明るい笑顔と活力があふれる　坂井

坂　井　市　健　康　都　市　宣　言

九頭竜川の恵みを受けて広がる坂井平野と青くきらめく日本海
その豊かな自然に恵まれた幸と悠久の歴史
優しさあふれる住みよいまち坂井市

一人ひとりが自らの健康を自らつくることを基本に
世代をこえ、ともに支え合い、誰もが笑顔で暮らせるまちをめざして
ここに「坂井市健康都市」を宣言します。

一　生涯元気に過ごすために
　すすんで健康診査を受け
　自分のからだのことをよく知ります。

一　健やかに育つために
　こどもの頃から家族みんなで
　健全な生活習慣について話し合います。

一　生涯にわたり健康なからだをつくるために
　バランスよい食事を心がけ
　楽しんでからだを動かします。

一　健康で過ごせる環境づくりのために
　地域の中でともに支え合い
　健康づくりの輪を広げます。

平成 26 年 11 月 8 日

坂　井　市

もくじ

１．保健事業のあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２．保健衛生の概要
　１）保健衛生の機構・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
　２）保健事業の予算と決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
　３）主な保健事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

３．人口動態
　１）人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
　２）出生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
　３）死亡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

４．疾病統計
　１）国民健康保険加入者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
　２）後期高齢者医療被保険者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

５．保健事業
　１）予防接種事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
　２）母子保健事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
　３）健康増進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
　４）介護予防事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
　５）歯科保健事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
　６）食育推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６

６．医療体制
　１）医療施設・医療従事者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
　２）救急医療体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７

１．保健事業のあゆみ

年　度	内　　容	国の動向
S41		母子保健法施行
S45	腸パラチフス予防接種の廃止	
S46	胃集団検診開始	
S47	子宮がん集団検診開始	
S49	循環器検診事業開始	
S52	市町村母子保健事業開始、風しん予防接種開始	
S53	国保保健師から市町村保健師として採用 1歳6か月児健診事業開始 食生活改善推進員委嘱	
S58	老人保健事業開始	老人保健法施行
S59	大腸がん検診開始	
S63	肺がん・乳がん集団検診開始	
H元	MMR(麻しん、おたふくかぜ・風疹)開始	
H5	MMR廃止	
H6	インフルエンザ予防接種廃止	地域保健法制定、母子保健法・栄養改善法・予防接種法の改正
H9	母子保健サービスが市町村に移譲（3歳児健診、妊婦・乳児一般健康診査等）	
H11	保健師、介護支援専門員資格取得、県に登録	伝染病予防法・性病予防法・エイズ予防法廃止、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法施行 精神福祉法が精神保健福祉法に改正
H12	介護保険サービス開始 丸岡保健センター(総合保健福祉センター)完成	介護保険法施行、健康日本２１
H13	高齢者インフルエンザ予防接種開始	予防接種法改正
H14	Ｃ型肝炎緊急総合対策事業開始	
H15	IT歩数計によるウオーキング推進事業開始(丸岡)	健康増進法施行
H16	小児救急医療支援事業開始 病院郡輪番制運営事業の国・県補助廃止	結核予防法一部改正
H17	胸部Ｘ線撮影の対象者は原則65歳以上 ＢＣＧ予防接種の個別接種開始(対象年齢が6ヶ月未満に変更、小中学校ツ反、ＢＣＧ廃止) 日本脳炎予防接種の積極的勧奨差し控え 乳がん検診、マンモグラフィーと視触診併用 坂井健康センター完成	結核予防法改正 食育基本法施行

年　　月	内　　容	国の動向
H18.　3	坂井市誕生（3/20）（三国・丸岡・春江・坂井が合併）	
H18.　4	健康福祉課誕生（保健師を本庁・4 支所に分散配置） 地域支援事業の介護予防事業開始 地域包括支援センターを三国と丸岡に設置 介護予防健診を開始（生活機能評価を実施） 第 3 子以降の妊婦健診の助成を拡大（3 回→14 回） 坂井市母子保健推進員、食生活改善推進員設置 ＢＣＧ接種の個別接種開始 ＭＲ（麻しん風しん）混合予防接種開始（1 期・2 期）	介護保険法改正 高齢者虐待防止法施行 障害者自立支援法施行 ＭＲ混合ワクチンの２回接種導入
H19	特定不妊治療費の助成開始（10 万円/1 回/年 2 回） こんにちは赤ちゃん事業開始 第 1 子・2 子の妊婦健診の助成を拡大（3 回→5 回） 坂井市特定健康診査等実施計画策定	がん対策基本法施行
H20.　4 5 6 H21.　1 3	課名が「健康長寿課」に変更（保健師本庁集中配置） ＭＲ（麻しん風しん）予防接種 3 期・4 期開始（H20～H24 年度） 特定健診、後期高齢者健診開始 健康サポーター設置（第１回サポーター登録） 坂井市医師会・歯科医師会への助成金廃止 ジフテリア、破傷風（２種混合）予防接種の個別接種開始 坂井市食育推進対策会議設置 坂井市食育推進会議設置 第 1 子・2 子の妊婦健診の助成を拡大（5 回→14 回、子宮がん検診、詳細血液検査を追加） 健康増進計画、母子保健計画、食育推進計画策定（坂井市総合計画）	国民健康保険法改正 高齢者の医療の確保に関する法律施行 老人保健法廃止 妊婦健診臨時特例交付金事業 （全妊婦の健診 6 回目以降 1/2）
H21.　6 11 H22.　1 6	女性特有のがん検診事業実施（節目年齢無料化） 新型インフルエンザ対策行動計画策定 新型インフルエンザ流行によりワクチン接種実施 任意予防接種（こどもインフルエンザ、流行性耳下腺炎）の一部助成開始 三国保健センター設置（三国総合支所 2 階） 胃・大腸・肺がん検診の個別健診の導入 後期高齢者人間ドック開始 3 歳児への日本脳炎予防接種第 1 期の積極的勧奨再開	女性特有のがん検診事業実施 日本脳炎新ワクチン使用認可 低所得者の新型インフルエンザワクチン接種助成

年　月	内　　容	国の動向
H22.　8	子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成（市単独）	
10	低所得者に新型インフルエンザの負担軽減事業の実施(H22 年度のみ)	低所得者の新型インフルエンザワクチン接種助成（季節性と新型が３価ワクチンとして一本化）
H23.　1	妊婦健診にＨＴＬＶ－１抗体検査を追加	妊婦健診の充実
	子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン接種費全額助成	子宮頸がん等予防ワクチン接種緊急促進事業
3	介護予防健診廃止	介護予防健診廃止
H23.　4	後期高齢者個別健診開始	がん検診推進事業実施
	健康長寿課事務所移転（別館へ）	
5	妊婦健診に性器クラミジア検査追加	妊婦健診の充実
	坂井市食育市民ネットワーク設立	
	大腸がん検診節目年齢無料化	
	日本脳炎特例対象者(積極的勧奨差し控えによる接種を受ける機会を逸した者）接種開始	低所得者の新型インフルエンザワクチン接種助成廃止
	肝炎ウイルス検査節目年齢無料化	
H24.　4	坂井市予防接種健康被害調査会要綱(名称変更)	生ポリオワクチン廃止
9	ポリオワクチンが生ワクチンから不活化ワクチンに切り替え、個別接種開始	不活化ポリオワクチン接種開始
11	4 種混合ワクチンの定期接種開始	4 種混合ワクチン定期接種
H25.　4	課名が「健康増進課」に変更	
	支所当番制の廃止	
	ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチン定期予防接種開始	ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチン定期予防接種開始
	日本脳炎 2 期の積極的勧奨再開	
	未熟児訪問事業開始（県より移行）	未熟児訪問事業、養育医療受給が都道府県より市町村へ移行
	ひまわりクリニック、育児相談の実施場所を坂井健康センターに集約	
6	子宮頸がん予防ワクチン接種の積極的勧奨差し控え	子宮頸がん予防ワクチン接種の積極的勧奨差し控え
	大人の風疹予防接種費の一部助成開始	
9	小児の肺炎球菌ワクチン、7 価から 13 価に切り替え	小児の肺炎球菌ワクチン 7 価から 13 価に切り替え
11	第 2 次坂井市食育推進計画策定	
	第 2 次坂井市福祉保健総合計画「健康さかい 21 計画」策定	
3	新型インフルエンザ等対策行動計画策定	

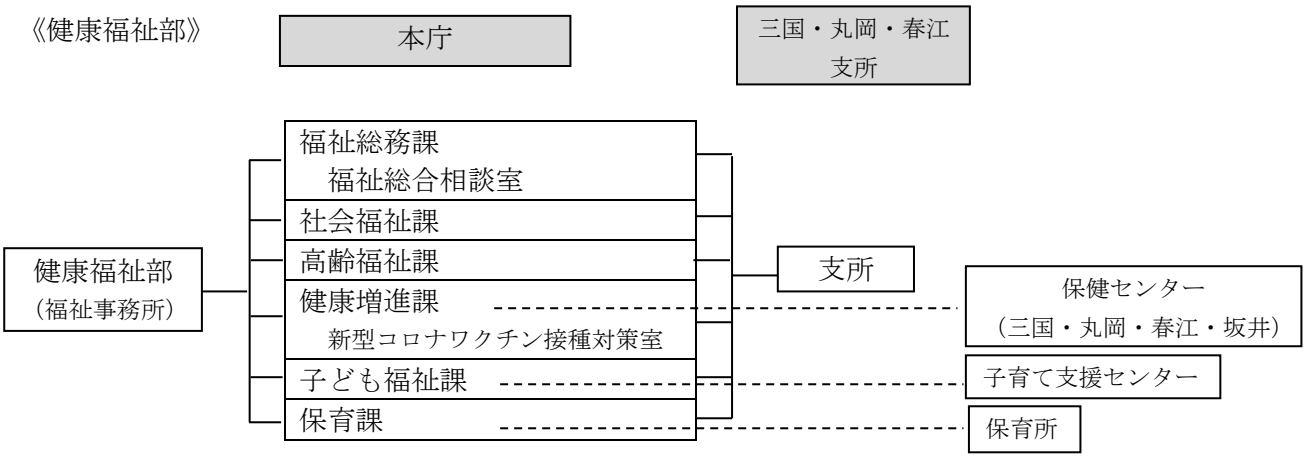
年　度	内　　容	国の動向
H26.　4	「ひまわりクリニック」→「ひまわり相談」に変更 こどもの定期予防接種医療機関の拡大（あわら市）	予防接種法の改正により、定期予防接種の接種間隔等の改正
	大人の風疹予防接種費の一部助成対象の変更	大人の風疹抗体検査費助成の開始
10	水痘、高齢者肺炎球菌の定期接種開始 定期予防接種Ａ類について個別接種広域化（県内）開始	3 種混合ワクチン販売中止
11	健康都市宣言（11 月 8 日） 健康都市宣言記念式典開催 坂井市健康なまちづくり条例の制定 「健康都市さかい」ロゴマーク作成 「健康都市さかい」看板を庁舎壁面に設置 全国健康保険協会福井支部と、「健康づくり推進に向けた包括的連携に関する協定」を締結 坂井市新型インフルエンザ等対策予防接種マニュアル作成	
H27.　4	健康なまちづくり推進協議会設置 胃がんリスク血液検査（ピロリ菌・ペプシノーゲン）導入（未受診者対象） 血中アミノ酸濃度測定検査費助成開始	妊娠・出産包括支援事業の開始
H28.　4	基本健診・特定健診・後期高齢者健診を一体的に実施 課名が「健康長寿課」に変更（保険年金課・高齢福祉課・健康増進課が統合） 胃がん検診、50 歳以上対象に胃内視鏡検査（個別検診のみで実施）導入 利用者支援事業（母子保健型）の実施 乳がん検診の視触診廃止 ひまわり相談の集団教室を実施	がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針一部改正
10	Ｂ型肝炎の定期予防接種開始	
H29.　4	三国保健センターが三国運動公園健康管理センター内に移転 胃がん検診対象（エックス線・内視鏡）を隔年とする ひまわり相談の一部を事業所委託 子育て世代包括支援センターの設置 IT 歩数計製造販売終了に伴い、新規利用申込を終了 後期高齢者個別歯科健診開始	
6	フレイル予防事業の開始（フレイルサポーター養成）	
12	協会けんぽ加入事業所対象の出前健康講座の募集開始	3 種混合ワクチン販売再開

年　月	内　　容	国の動向
H30.　4	課名が「健康増進課」に変更（健康長寿課が保険年金課・高齢福祉課・健康増進課に分課） 助産師による早期の養育支援訪問事業を実施	風しんの追加的対策事業開始（H31～R3 年度）
H31.　4 R2.　3	定期予防接種 B 類について個別接種広域化（県内）開始 風しんの公的接種を受ける機会がなかった男性の風しん抗体検査及び風しん予防接種（５期）を開始 3 月末で IT 歩数計事業を終了	
R2.　4 9 10 R3.　2 3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保健事業の一部を中止 ３歳児健診　眼の屈折検査開始 坂井市医療機関での個別基本健診開始 産後ケア事業の開始 健康アプリ「歩こっさプラス」公開 ロタウイルスワクチンの個別接種開始 新型コロナワクチン接種対策室を健康増進課内に設置 新型コロナワクチン医療従事者への接種開始 後期高齢者個別歯科健診終了（R3.4 月～75 歳対象に後期高齢者医療広域連合で実施）	4/14～5/14　新型コロナウイルス緊急事態宣言 ワクチンの接種間隔の規定の変更 12/9 予防接種法の改正により臨時接種として新型コロナウイルスワクチン接種を実施
R3.　4 5 10	産婦健康診査、新生児聴覚スクリーニング検査の助成開始 新型コロナワクチン個別接種・集団接種開始 子宮頸がんワクチン予防接種積極的勧奨再開	

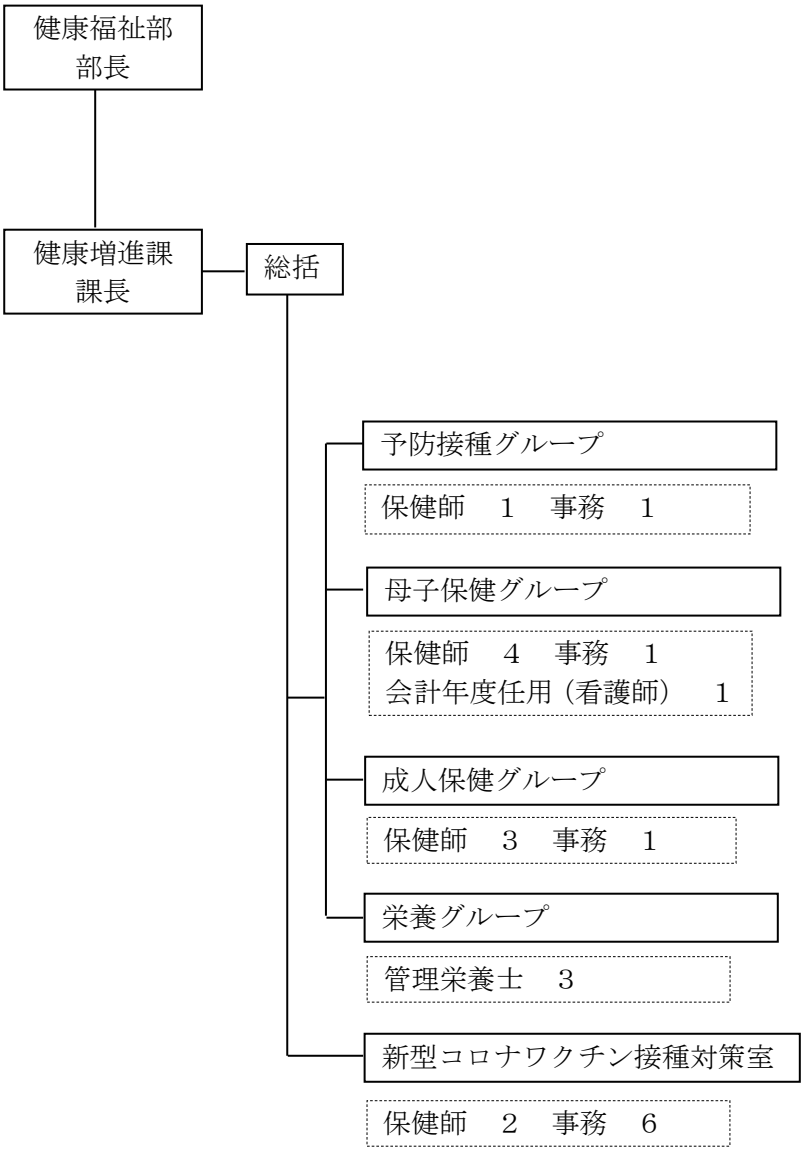
２．保健衛生の概要

１）保健衛生の機構（令和３年４月１日現在）

《健康福祉部》



《健康増進》



事務分掌

《予防接種グループ》
- 予防接種事業

《母子保健グループ》
- 母子健診事業
- 母子訪問事業
- 母子健康教育、相談事業
- 母子健康手帳交付事業
- 母子保健推進員育成事業
- 特定不妊治療費助成事業
- 母子歯科保健事業
- 児童虐待
- 子育て世代包括支援センター
- 産後ケア事業

《成人保健グループ》
- 基本健診、後期高齢者健診事業
- がん検診事業
- 成人健康教育、相談、訪問事業
- 成人歯科保健事業
- 心の健康づくり
- 健康サポーター育成事業
- 健康都市推進事業

《栄養師業務》
- 栄養相談、指導事業
- 食育推進事業
- 食生活改善推進員育成事業
- 食の安全、食中毒予防

《総括》
- 健康なまちづくり推進協議会
- 医師会、歯科医師会関係
- 救急医療体制、感染症事業
- 保健センター管理
- 各種計画(健康増進・食育)

保健師、栄養士等の配置状況（令和３年４月１日現在）

部署		保健師	栄養士
社会福祉課	精神保健福祉、障害福祉業務等	3	－
高齢福祉課	介護保険、介護予防業務等	６（1）	－
健康増進課 新型コロナワクチン接種対策室	保健衛生等	１１	3
子ども福祉課	母子福祉、児童家庭相談、子育て支援等	1	－
保育課	保育所等給食管理業務等	0	3
保険年金課	国保保健事業業務等	1	－
職員課		1	－
教育委員会	学校給食管理、食物アレルギー対応業務等	－	5
その他	育児休暇等	4	0

（　）は内、会計年度任用又は再任用

２）保健事業の予算と決算（令和３年度）

	費目	予算現額（単位：千円）	決算額（単位：千円）
一般会計	保健衛生総務費（＊1）	１０，６５１	１０，４１５
	予防費	９１２，１８２	７９２，４６４
	保健衛生施設費	１，０７４	９８６
	母子保健費	９５，２４８	９１，２２５
	健康増進費	１１４，６８０	９９，３４７

坂井市決算書より

※１予算現額、決算額から職員人件費（保健衛生）、水道事業会計補助金、病院事業会計補助金、国民健康保険特別会計繰出金を除く

3）主な坂井市保健事業一覧(令和3年度)

分類	事　業　名	事　業　説　明	備　考
母子保健	思春期教室	外部講師による性や性感染症等に関する講義	市内5箇所の中学校のうち希望する学校で実施
	利用者支援事業（母子保健型）	妊娠期から子育て期にわたり、親子が健康に過ごせるように健康や育児に関する相談に対応	妊娠届等の機会を通して、支援が必要な対象者を把握
	母子健康手帳交付	保健師が窓口にて個別面談の上交付。妊婦指導実施	健康増進課で交付
	両親学級（パパママレッスン）	妊婦とその家族を対象に、妊娠期の過ごし方や赤ちゃんのお世話等の講義	坂井健康センターで実施
	特定不妊治療費助成	不妊検査・一般不妊治療、特定不妊治療の助成	県の助成を優先
	妊産婦・乳児一般健康診査	妊婦14回、産婦、新生児聴覚検査、乳児（1か月児・4か月児・9～10か月児）の健診費用助成。里帰り出産の妊産婦健診、新生児聴覚検査、1か月児健診についての助成	県内医療機関委託
	乳児家庭全戸訪問	1～4か月頃に保健師及び助産師が全数訪問	早期支援必要者には新生児期に訪問
	養育支援訪問	特に早期支援が必要な妊産婦や乳幼児等に保健師及び助産師が訪問	医療機関からの連絡票を活用
	産後ケア事業	家族等からの援助が乏しく心身の不調や育児不安がある産婦を対象とした支援事業	R2～実施。宿泊型、通所型、訪問型の3種類
	育児相談	5～6か月児育児相談（計測、発達確認、育児相談、離乳食指導、ブックスタート）	坂井健康センターで実施
		子育て支援センターでの育児相談	子育て支援センターに保健師または栄養士が出向いて実施
		メールによる相談	携帯電話やパソコンによるメール相談に随時、保健師や栄養士が対応
	歯と離乳食の相談会	9か月～1歳児を対象に、栄養・歯科・保健相談	坂井健康センターで実施
	1歳6か月児健康診査	計測、内科・歯科健診、保健・栄養・歯科相談	4箇所の保健センターで実施
	3歳児健康診査	計測、内科・歯科健診、尿検査、保健・栄養/歯科相談、歯みがき指導、屈折検査、視力検査	
	発達相談（ひまわり相談・教室）	幼児健診等で把握された気がかりな児等を対象に医師・臨床心理士・言語聴覚士による個別または集団での相談	坂井健康センターで実施。個別相談については一部事業所に委託
予防接種事業	予防接種事業	＜個別接種＞ 定期接種： BCG　4種混合　2種混合　麻しん風しん混合 日本脳炎　ヒブ　小児用肺炎球菌　B型肝炎 子宮頸がん　水痘　ロタ 任意接種： 流行性耳下腺炎　こどもインフルエンザ	
		高齢者インフルエンザ	
		高齢者肺炎球菌	
		風しん追加的対策事業	
		大人の風疹予防接種費助成事業	
		予防接種手帳の交付と予防接種計画指導	出生届出後、転入届出後交付。赤ちゃん訪問時に指導
	予防接種事故調査会	委員5名	必要時開催
成人保健	健康手帳交付	市ホームページで周知	H29年度から、厚生労働省ホームページより様式ダウンロード可能
	集団健康教育	病態別、食・運動等に関する健康教育、地域での健康教室	年間計画により実施。要請により随時実施
	事業所出前健康教育	連携協定事業等による企業向け出前健康講座	協会けんぽ加入の希望のあった事業所に対し実施
	健康相談	病態別、食・運動等に関する健康相談、地域での健康相談	保健センター、市内コミュニティセンター等で実施
	訪問指導	健診の要指導者や要医療者を訪問して指導	
	健康アプリ	市民の健康づくりに関する取り組みに対して、ポイントを付与	
	健康啓発事業	「プラスマイナスチャレンジ」の啓発	健康フェスタなど健康づくり事業での啓発、健康チェック等

分類	事　業　名	事　業　説　明	備　考
成人保健	がん検診	胃がん検診	20歳以上　集団（Ｘ線）・個別（Ｘ線、内視鏡50歳以上のみ）
		大腸がん検診	20歳以上　集団・個別
		子宮頸がん検診	20歳以上の女性　集団・個別
		乳がん検診	40歳以上の女性　集団・個別
		肺がん検診	20歳以上　集団・個別、結核検診と同時実施
		前立腺がん検査	50歳以上男性集団、PSA検査
		胃がんリスク血液検査	20歳以上集団（ピロリ菌抗体検査＋ペプシノゲン検査）
	特定健診	40歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者	集団健診：市内コミュニティセンター等で実施 個別健診：福井県医師会に委託
	後期高齢者健診	後期高齢者医療被保険者	集団健診：市内コミュニティセンター等で実施 個別健診：福井県医師会に委託
	基本健診	基本健診 (40歳未満、生活保護受給者)	集団健診：市内コミュニティセンター等で実施 個別健診：坂井市医師会に委託（生保）
		肝炎ウイルス検査（Ｂ・Ｃ型）	Ｂ型肝炎検査は20歳以上の希望者、Ｃ型肝炎検査は40歳以上の希望者
	ドック	国民健康保険・後期高齢者医療被保険者	県内の指定医療機関 保険年金課で実施
歯科保健	歯科保健事業	幼児歯科健診・成人歯科健診を実施	幼児健診、集団健診と同時実施
		歯と離乳食の相談	9か月～1歳児対象で実施 栄養・歯科・保健相談
介護予防	音楽・体操いきいき教室	生活総合機能改善機器を利用して音楽に合わせて体を動かす介護予防教室	通年実施
	介護予防講師派遣事業	介護予防の普及・啓発のため老人クラブ等の高齢者が所属する団体に講師を派遣	随時実施
	通いの場事業	地域住民の主体的な介護予防活動	通年実施
	フレイルサポーター	フレイル予防活動	H29年度から養成（登録制）
栄養	母子食育推進事業	乳幼児の食生活に関する個別相談・集団教室の開催	母子保健事業と同時開催。または、募集や要請を受けて実施
	成人食育推進事業	生活習慣病予防の食生活に関する個別相談・集団教室の開催	成人保健事業と同時開催。または、募集や要請を受けて実施
	介護予防食育推進事業	介護予防の食生活に関する個別相談・集団教室の開催	地域支援事業と同時開催。または、募集や要請を受けて実施
	食育ネットワーク事業	市内食育推進団体活動の支援	
感染症予防	感染症予防事業	結核検診	20歳以上市民に、集団検診で実施
		新型コロナウイルス感染症に関する相談 食中毒予防対策	市広報やホームページ等に掲載
救急	小児救急医療支援事業	嶺北地区４病院の輪番により、夜間の小児救急医療の確保	嶺北11市町による補助
	在宅当番医制事業	休日の日中の救急医療体制として、当番制での診療	坂井地区医師会委託
	病院群輪番制運営事業	嶺北地区病院の輪番により、休日とその夜間の二次救急医療の確保	嶺北11市町による補助
	こども急患センター開設	夜間・休日・年末年始の小児診療を行い、安定した小児医体制の確保	県と嶺北11市町で「福井県こども急患センター」を設置
	二次救急医療体制強化支援事業	坂井地区の私的二次救急医療機関の救急搬送受入れ体制の円滑化、救急医療体制の強化	坂井地区私的二次救急医療機関に補助
地区組織	母子保健推進員	母子に関する活動	市長委嘱、隔年養成
	食生活改善推進員	食生活に関する活動	市長委嘱、隔年養成
	健康サポーター	健康づくりに関する推進活動	H19年度から養成（登録制）

３．人口動態

１）人口

（１）人口と世帯

坂井市の総人口は、令和 3 年 10 月 1 日現在 87,698 人で、令和 2 年 10 月 1 日から 783 人減少した。

福井県の総人口は 760,209 人で、坂井市人口の占める割合は 11.5%である。坂井市の総世帯数は 31,305 世帯で、238 世帯増加した。また、１世帯当たり人員は 2.80 人であった。

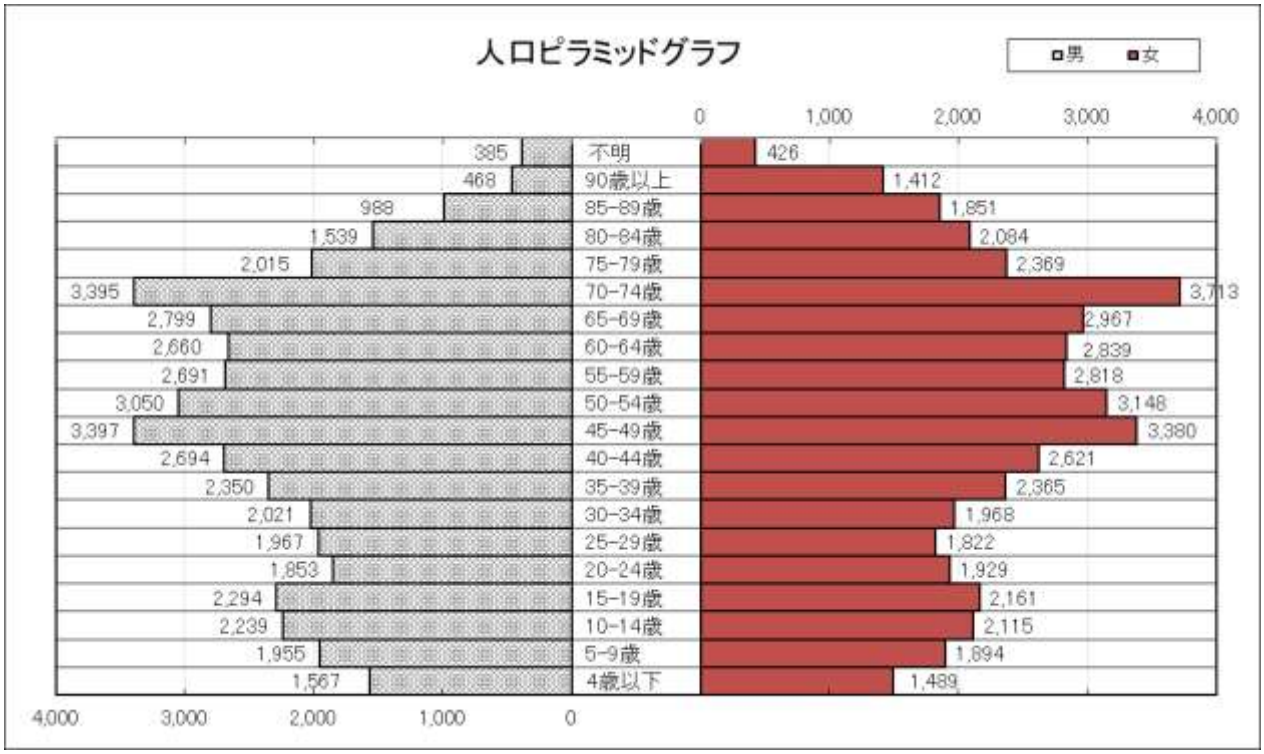
区分＼年		H29	H30	R1	R2	R3
人口（人）	男	43,245	43,018	42,809	42,719	42,327
	女	46,510	46,285	45,986	45,762	45,371
	計	89,755	89,303	88,795	88,481	87,698
世帯数（世帯）		30,031	30,391	30,742	31,067	31,305
1 世帯の家族数（人）		2.99	2.94	2.89	2.85	2.80

資料：福井県の推計人口（令和 3 年 10 月 1 日現在）

（２）年齢別人口

坂井市の人口を年齢 5 歳階級別にみると、70～74 歳が最も多く、ついで 45～49 歳、50～54 歳の順となっている。

人口ピラミッドをみると、70～74 歳と 45～49 歳を中心とした２つの膨らみを持つ「逆ひょうたん型」となっている。



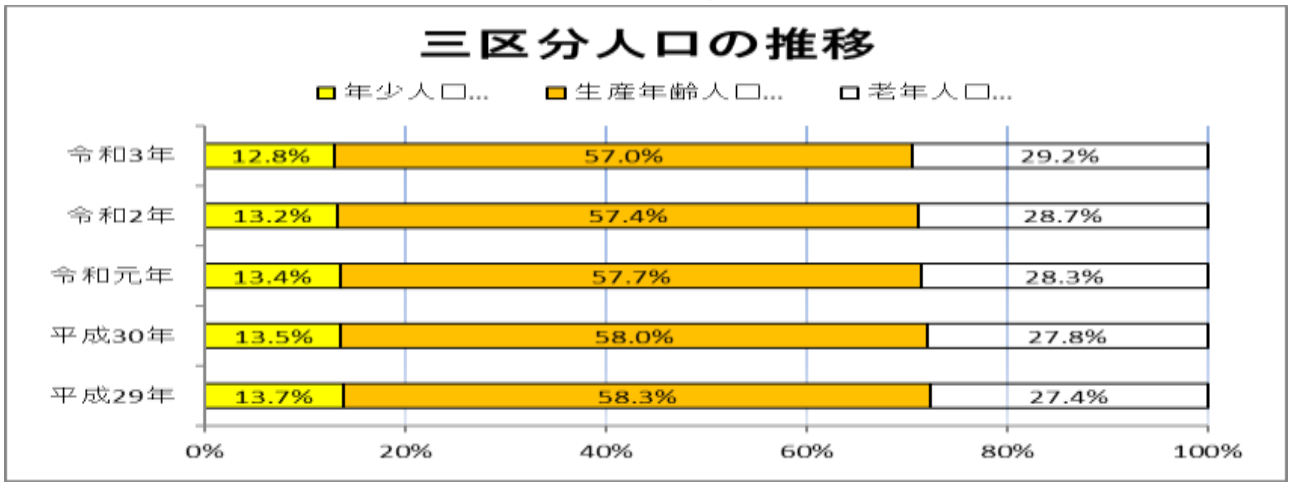
資料：福井県の年齢別人口（令和 3 年 10 月 1 日現在）

（３）三区分人口の構成比の推移

区分		H29	H30	R1	R2	R3	R3 福井県
年少人口	人	12,291	12,091	11,597	11,597	11,259	93,533
(0～14歳)	%	13.7	13.5	13.2	13.2	12.8	12.3
生産年齢人口	人	52,335	51,785	50,656	50,656	50,028	422,742
(15～64歳)	%	58.3	58.0	57.4	57.4	57.0	55.6
老年人口	人	24,548	24,846	25,092	25,342	25,600	233,283
(65歳以上)	%	27.4	27.8	28.3	28.7	29.2	30.7
(内75歳以上)	%	13.6	14.0	14.4	14.5	14.5	15.7
合計		89,755	89,303	88,795	88,176	87,698	760,209

資料：福井県の年齢別人口(令和３年10月１日現在)　　年齢不詳は、三区分人口いずれにも含めず

総人口を年齢３区分別にみると、年少人口(0～14歳)、生産年齢人口(15～64歳)の割合は年々減少し、老年人口(65歳以上)の割合は増加している。



（４）人口動態

		H29	H30	R1	R2	R3
出生数	全国	946,065	918,400	865,239	840,835	811,622
出生率		7.6	7.4	7.0	6.8	6.6
(人口千対)	福井県	5,856	5,826	5,307	5,313	5,223
		7.6	7.6	7.0	6.9	6.9
	坂井市	609	636	566	568	577
		6.9	7.2	6.5	6.4	6.6
死亡数	全国	1,340,397	1,362,470	1,381,093	1,372,755	1,439,856
死亡率		10.8	11.0	11.2	11.1	11.7
(人口千対)	福井県	9,347	9,221	9,593	9,286	9,721
		12.2	12.1	12.7	12.1	12.8
	坂井市	965	937	948	971	1,062
		10.9	10.6	10.9	11.0	12.1
乳児死亡数	全国	1,761	1,748	1,654	1,512	1,399
乳児死亡率		1.9	1.9	1.9	1.8	1.7
(出生千対)	福井県	11	8	12	24	6
		1.9	1.4	2.3	4.5	1.1
	坂井市	0	0	0	2	1
		0.0	0.0	0.0	3.5	1.7

			H29	H30	R1	R2	R3
新生児死亡数 新生児死亡率 （出生千対）			832	801	755	704	658
		全国	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8
			5	2	8	14	4
		福井県	0.9	0.3	1.5	2.6	0.8
			0	0	0	2	1
		坂井市	0	0.0	0.0	3.5	1.7
死産数	総数 死産率 （出産千対）		20,358	19,614	19,454	17,278	16,277
		全国	21.1	20.9	22.0	20.1	19.7
			107	128	120	93	103
		福井県	17.9	21.5	22.1	17.2	19.3
			6	11	11	11	12
		坂井市	9.8	17.0	19.1	19.0	20.4
	自然 死産率 （出産千対）		9,738	9,252	8,997	8,188	8,082
		全国	10.1	9.9	10.2	9.5	9.8
			59	76	55	50	40
		福井県	9.9	12.8	10.1	9.2	7.5
			3	4	3	5	4
		坂井市	4.9	6.2	5.2	8.6	6.8
	人工 死産率 （出産千対）		10,620	10,362	10,457	9,090	8,195
		全国	11.0	11.0	11.8	10.6	9.9
			48	52	65	43	63
		福井県	8.0	8.7	12.0	8.0	11.8
			3	7	8	6	8
		坂井市	4.9	10.8	13.9	10.4	13.6
周産期死亡数 周産期死亡率 （出産千対）			3,308	2,999	2,955	2,664	2,741
		全国	3.5	3.3	3.4	3.2	3.4
			17	21	17	22	17
		福井県	2.9	3.6	3.2	4.1	3.2
			0	2	2	1	4
		坂井市	0.0	3.1	3.5	1.8	6.9
婚姻件数 率（人口千対）			606,866	586,481	599,007	525,507	501,138
		全国	4.9	4.7	4.8	4.3	4.1
			3,381	3,274	3,320	3,029	2,821
		福井県	4.4	4.3	4.4	3.9	3.7
			384	362	396	317	302
		坂井市	4.3	4.1	4.5	3.6	3.4
離婚件数 率（人口千対）			212,262	208,333	208,496	193,253	184,384
		全国	1.70	4.70	1.69	1.57	1.50
			1,083	1,081	1,093	1,052	1,018
		福井県	1.41	1.42	1.45	1.37	1.34
			87	107	123	120	106
		坂井市	0.98	1.21	1.41	1.36	1.21

資料：福井県衛生統計年報人口動態統計（令和３年）

2）出生

（1）出生数、出生率の年次推移

		S50	S55	H29	H30	R1	R2	R3
全国	出生数（千人）	1,901	1,577	946	918	865	840	811
	全国　出生率	17.1	13.6	7.6	7.4	7.0	6.8	6.6
	合計特殊出生率	1.91	1.75	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30
県	出生数	12,421	10,724	5,856	5,826	5,307	5,313	5,223
	県　出生率	16.2	13.6	7.6	7.6	7.0	7.1	6.9
	合計特殊出生率	2.06	1.93	1.62	1.67	1.56	1.56	1.57
坂井市	坂井市　出生数	1,201	1,033	609	636	566	568	577
	坂井市　出生率	16.6	13.6	6.9	7.2	6.5	6.4	6.6

資料：福井県衛生統計年報人口動態統計（令和３年）

出生数は、第２次ベビーブーム期の昭和 48 年以降、減少傾向が続いている。令和２年は 577 人で、前年より出生数は増加し、県の出生率を下回った。

（2）母の年齢別出生数

年齢	～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	合計
県	0	26	403	1,450	1,515	1,861	250	7	5,313
率	0.00	0.49	7.59	27.29	28.51	35.03	4.71	0.13	
坂井市	0	2	43	162	223	127	20	0	568
率	0.00	0.35	7.57	28.52	39.26	22.36	3.52	0.00	

資料：福井県衛生統計年報人口動態統計（令和３年）

（3）体重別出生数

	1kg未満	1.0～1.4kg	1.5～1.9kg	2.0～2.5kg	2.5kg丁度	2.501kg以上	総数
福井県	27	31	63	358	4	4,830	5,313
率	0.51	0.58	1.19	6.74	0.08	90.91	100
坂井市	2	5	4	30	0	411	452
率	0.44	1.11	0.88	6.64	0.00	90.93	100

資料：福井県衛生統計年報人口動態統計（令和３年）

３）死亡

（１）死亡数、死亡率の推移

死亡率（人口千対）

		H29	H30	R1	R2	R3
全国	死亡数	1,340,397	1,362,470	1,381,093	1,372,755	1,439,856
	死亡率	10.8	11.0	11.2	11.1	11.7
福井県	死亡数	9,347	9,221	9,593	9,286	9,721
	死亡率	12.2	12.1	12.7	12.3	12.8
坂井市	死亡数	965	937	948	971	1,062
	死亡率	10.9	10.6	10.9	11.0	12.1

資料：福井県衛生統計年報人口動態統計（令和３年）

（２）年齢別死亡数と死亡率

死亡率（人口千対）

年代	人口	死亡数			市死亡率	県死亡率
		総数	男	女		
0～4 歳	3,056	1	1	0	0.3	0.4
5～9 歳	3,849	0	0	0	0.0	0.1
10～19 歳	8,809	2	2	0	0.2	0.2
20 歳～29 歳	7,571	3	2	1	0.4	0.4
30 歳～39 歳	8,704	3	2	1	0.3	0.3
40 歳～49 歳	12,092	11	6	5	0.9	1.0
50 歳～59 歳	11,707	22	16	6	1.9	2.4
60 歳～69 歳	11,265	69	50	19	6.1	6.2
70 歳～79 歳	11,492	184	120	64	16.0	16.5
80 歳～89 歳	6,462	392	198	194	60.7	58.3
90 歳以上	1,880	375	119	256	199.5	180.3
年齢不詳	811	0	0	0	0.0	0.0
合計	87,698	1062	517	545	12.1	12.8

資料：福井県衛生統計年報人口動態統計（令和３年）
死亡率算出の人口は、福井県年齢別人口（令和３年 10 月１日現在）を使用

（３）主要疾病別、男女別死亡数・死亡率

		悪性新生物	心疾患	急性心筋梗塞	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故	腎不全	自殺	糖尿病	肝疾患	総数
福井県	男	1,387	741	187	337	321	251	183	95	87	52	48	4,743
	女	1,000	875	143	405	266	763	119	89	38	58	35	4,978
	計	2,387	1,616	330	742	587	1,014	302	184	125	110	83	9,721
	死亡率	314.0	212.6	43.4	97.6	77.2	133.4	39.7	24.2	16.4	14.5	10.9	1,278.7
坂井市	男	154	99	39	32	33	23	16	11	10	6	7	517
	女	113	105	21	38	28	90	11	13	2	6	2	545
	計	267	204	60	70	61	113	27	24	12	12	9	1,062
	死亡率	304.5	232.6	68.4	79.8	69.6	128.9	30.8	27.4	13.7	13.7	10.3	1,211.0

資料：福井県衛生統計年報人口動態統計（令和３年）
死亡率算出の人口は、福井県年齢別人口（令和３年 10 月１日現在）を使用

（４）三大生活習慣病死亡率と年次推移（国・県比較）　　死亡率（人口十万対）

			H28	H29	H30	R1	R2	R3
悪性新生物	全国	人数	372,986	373,334	373,584	376 425	378 385	381,505
		死亡率	298.3	299.5	311.3	304.2	299.8	310.7
		割合（%）	28.5	27.9	27.4	27.3	27.6	27.6
	福井県	人数	2,439	2,399	2,386	2,350	2,336	2,387
		死亡率	311.8	308.2	308.4	306.1	306.3	314.0
		割合（%）	26.4	25.7	25.9	24.5	25.2	24.6
	坂井市	人数	261	259	245	234	103	267
		死亡率	290.0	288.6	274.3	263.5	264.0	304.5
		割合（%）	27.0	26.8	26.1	24.7	10.6	25.1
心疾患	全国	人数	198,006	204,837	208,221	207 714	205 596	214,710
		死亡率	158.4	164.3	167.6	167.9	162.9	174.9
		割合（%）	15.1	15.3	15.3	15.0	15.0	15.0
	福井県	人数	1,376	1,534	1,501	1,550	1,571	1,616
		死亡率	175.9	197.1	194.0	201.9	206.0	212.6
		割合（%）	14.9	16.4	16.3	16.2	16.9	16.6
	坂井市	人数	145	176	156	156	102	204
		死亡率	161.1	196.1	174.7	175.7	172.0	232.6
		割合（%）	15.0	18.2	16.6	16.5	10.5	19.2
脳血管疾患	全国	人数	109,320	109,880	108,186	106 552	102 978	104,595
		率	87.4	88.2	87.1	86.1	81.6	85.2
		割合（%）	8.4	8.2	7.9	7.7	7.5	7.5
	福井県	人数	814	819	760	802	740	742
		死亡率	104.1	105.2	98.2	802.0	97.0	97.6
		割合（%）	8.8	8.8	8.2	104.5	8.0	7.6
	坂井市	人数	81	64	67	75	44	70
		死亡率	90.0	71.3	75.0	84.5	71.0	79.8
		割合（%）	8.4	6.6	7.2	7.9	4.5	6.6

＊割合は、死亡者総数における疾病別死亡者数の割合
資料：厚生労働省人口動態統計（確定数）の概況（令和３年）、福井県衛生統計年報人口動態統計（令和３年）
県、市の死亡率算出の人口は、福井県年齢別人口（令和３年10月１日現在）を使用

（５）部位別がん死亡順位　　（人）

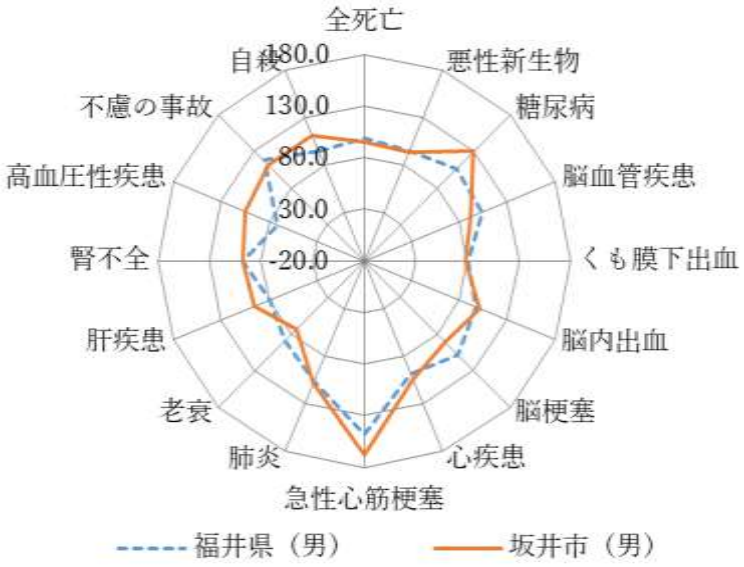
全　体			男　性			女　性		
１位	気管支・肺	54	１位	気管支・肺	34	１位	気管支・肺	20
２位	結腸・直腸	35	２位	結腸・直腸	19	２位	結腸・直腸	16
３位	膵臓	30	３位	胃	18	３位	膵臓	13
４位	胃	22	４位	膵臓	17	４位	乳房	9
５位	肝臓	21	５位	前立腺	15	５位	胆のう	7
６位	前立腺	15	６位	肝臓	14	５位	肝臓	7
７位	胆のう	11	７位	悪性リンパ腫	5	７位	子宮	6
７位	乳房	9	７位	膀胱	5	８位	胃	4
７位	膀胱	8	９位	胆のう	4	９位	膀胱	3
10位	悪性リンパ腫	7	９位	食道	4	９位	食道	3
						９位	白血病	3
合計		212	合計		135	合計		91

資料：福井県衛生統計年報人口動態統計（令和３年）

（６）標準化死亡比（ＳＭＲ）

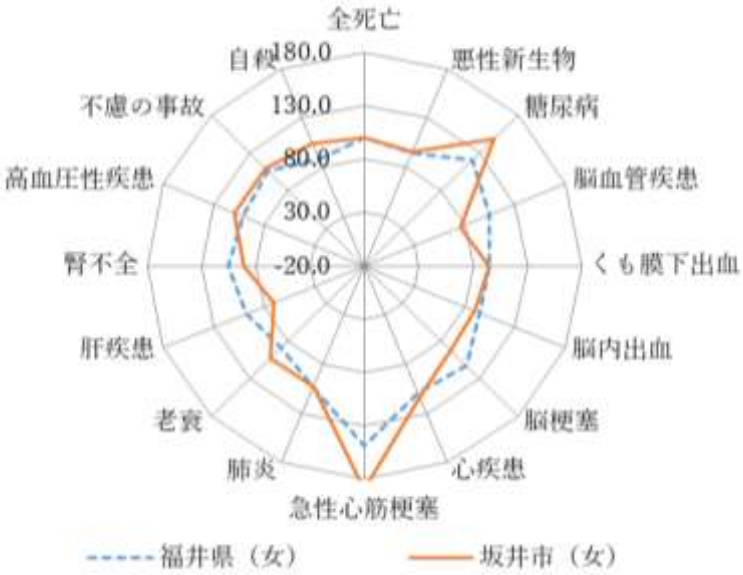
平成 28 年～令和 2 年における標準化死亡比（男性）

	福井県（男）	坂井市（男）
全死亡	98.7	95.6
悪性新生物	95.1	93.6
糖尿病	106.4	129.6
脳血管疾患	103.2	91.6
くも膜下出血	80.7	77.9
脳内出血	97.2	101.4
脳梗塞	109.2	91.7
心疾患	98.7	104.2
急性心筋梗塞	148.5	167.6
肺炎	107.0	108.7
老衰	89.4	73.8
肝疾患	79.8	95.2
腎不全	98.0	97.8
高血圧性疾患	70.8	104.5
不慮の事故	117.7	110.8
自殺	94.6	111.9



平成 28 年～令和 2 年における標準化死亡比（女性）

	福井県（女）	坂井市（女）
全死亡	100.0	99.8
悪性新生物	94.9	95.9
糖尿病	120.6	148.8
脳血管疾患	104.5	75.1
くも膜下出血	95.3	95.2
脳内出血	94.9	89.5
脳梗塞	112.6	91.9
心疾患	108.6	113.2
急性心筋梗塞	148.7	190.2
肺炎	103.9	102.6
老衰	88.6	102.4
肝疾患	97.4	69.9
腎不全	105.3	90.6
高血圧性疾患	101.2	110.0
不慮の事故	105.9	109.1
自殺	88.5	104.3



男性は、急性心筋梗塞、不慮の事故、脳梗塞の順に高く、女性は、急性心筋梗塞、糖尿病、脳梗塞の順に高くなっている。

※標準化死亡比は、全国の年齢階級別死亡率とその地域の人口から算出する期待死亡数と、その地域で実際に観察された死亡数の比を用いることで、その地域の死亡状況がどの程度かを推測する指標である。
※標準化死亡比は、全国を 100 とし、100 より大きい場合は、死亡率は全国より高く、低い場合は、死亡率は全国より低いとする。

４．疾病統計

１）国民健康保険加入者

令和２年度の年間平均国民健康保険被保険者数は　　15,696 名（9,934 世帯）

令和３年度の年間平均国民健康保険被保険者数は　　15,249 名（9,840 世帯）

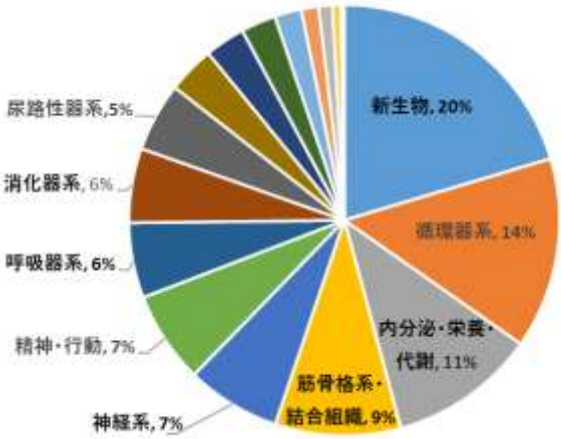
（１） 疾病分類別診療費（令和３年度）

総診療費は令和３年度 59 億 620 万 7,190 円で、令和２年度より３億 425 万 9,610 円増加している。

（円）

	R2	R3
外　来	3,254,264,290	3,400,527,060
入　院	2,347,683,290	2,505,680,130
総診療費	5,601,947,580	5,906,207,190

R3　疾病別割合（外来＋入院）



疾病分類別診療費（外来）　多い順

疾患分類	円	%
内分泌・栄養・代謝疾患	600,706,610	17.5
新生物	587,497,700	17.1
循環器系	419,095,940	12.2
筋骨格系・結合組織	332,338,200	9.7
尿路性器系	216,194,060	6.3
神経系	208,330,550	6.1
消化器系	193,509,720	5.6
精神・行動	177,341,980	5.2
呼吸器系	175,063,660	5.1
眼・付属器	147,803,970	4.3
皮膚・皮下組織	110,323,230	3.2
感染症及び寄生虫症	80,272,810	2.3
損傷・中毒・外因影響	46,635,780	1.4
血液・造血器・免疫機構	37,714,440	1.1
分類されないもの	34,185,340	1
耳・乳様突起	31,094,780	0.9
先天奇形・染色体異常	1,439,460	0
妊娠・分娩・産じょく	733,030	0
周産期発生の病態	245,800	0

疾病分類別診療費（入院）　多い順

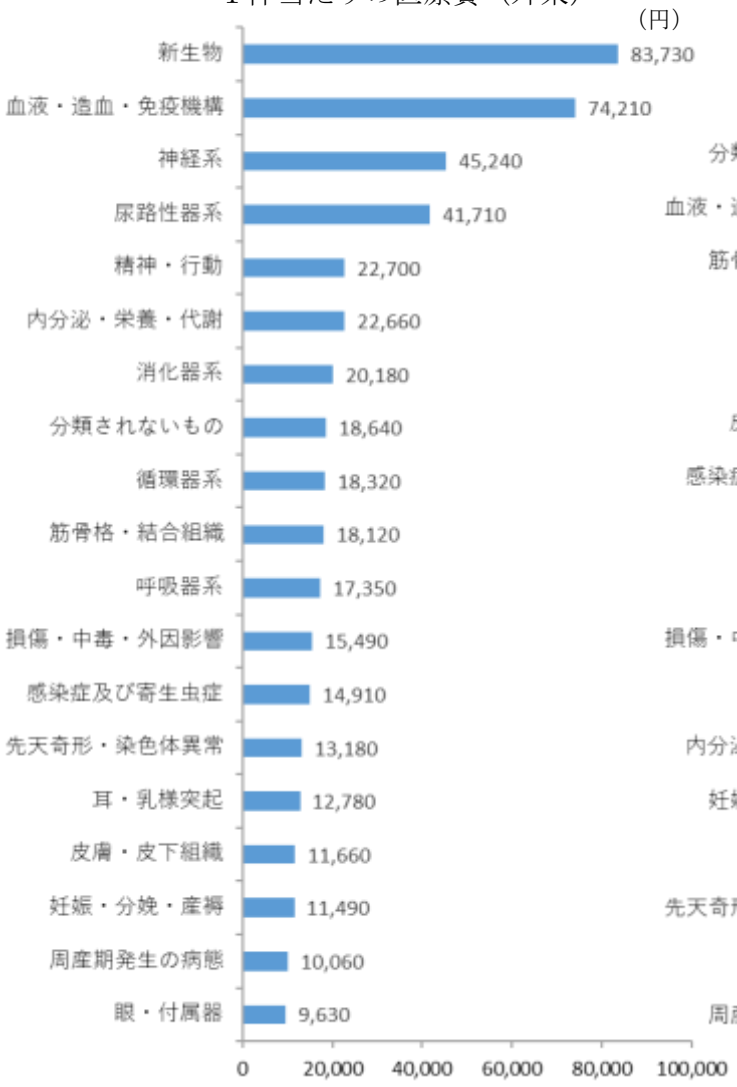
疾患分類	円	%
新生物	616,425,060	24.3
循環器系	428,071,720	16.9
精神・行動	229,309,920	9
筋骨格・結合組織	224,896,060	8.9
神経系	210,398,150	8.3
呼吸器系	158,099,240	6.2
消化器系	136,518,580	5.4
損傷・中毒・外因影響	132,120,090	5.2
尿路性器系	89,156,970	3.5
眼・付属器	61,664,710	2.4
内分泌・栄養・代謝疾患	51,184,360	2
皮膚・皮下組織	44,705,250	1.8
分類されないもの	42,445,460	1.7
感染症及び寄生虫症	38,962,160	1.5
血液・造血器・免疫機構	23,014,170	0.9
妊娠・分娩・産じょく	8,980,970	0.4
耳・乳様突起	6,903,720	0.3
先天奇形・染色体異常	1,480,520	0.1
周産期発生の病態	1,343,020	0.1

資料：ＫＤＢ　国民健康保険疾病別医療費分析　大分類（令和３年累計）

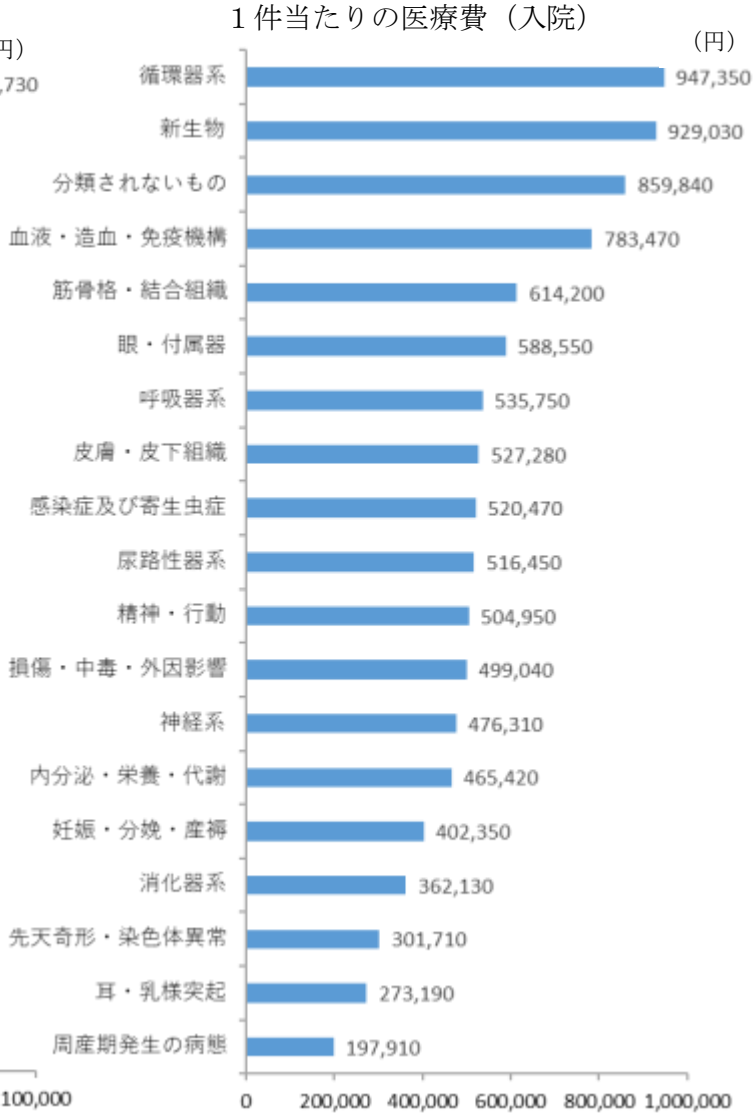
（２） 疾病別１件当たり診療費（令和３年度）

疾病別１件当たりの診療費は、外来では新生物が最も高く 83,730 円、次に血液・造血・免疫機構 74,210 円、神経系 45,240 円となっている。入院では循環器系が最も高く 947,350 円、新生物 929,030 円であった。

１件当たりの医療費（外来）



１件当たりの医療費（入院）



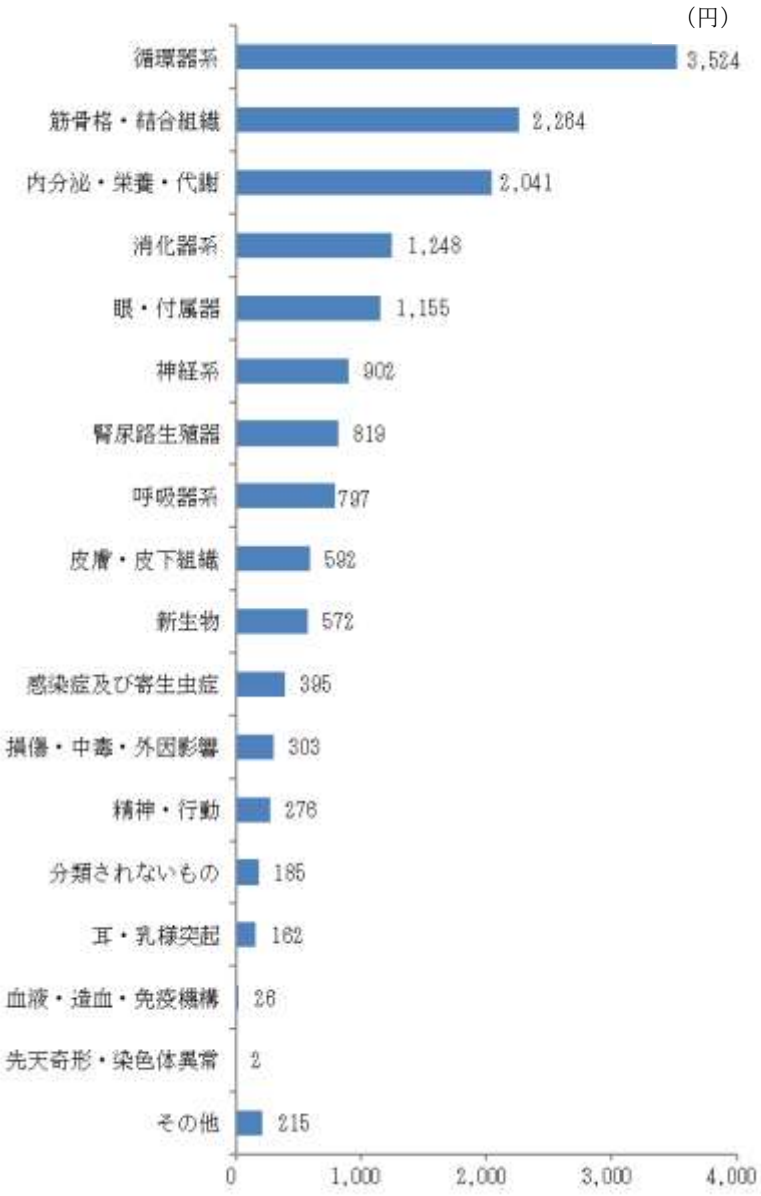
資料：ＫＤＢ　国民健康保険疾病別医療費分析　大分類（令和３年累計）

２）後期高齢者医療被保険者

（１）疾病分類別件数（令和３年５月診療分）

令和３年５月時点の被保険者数は 13,272 人。診療件数は 15,478 件。うち循環器系の件数が 3,524 件、次いで筋骨格・結合組織が 2,264 件、内分泌・栄養・代謝が 2,041 件と多い。令和２年と比べると 1,081 件増加している。

疾病分類別	件数（件）
循環器系	3,524
筋骨格・結合組織	2,264
内分泌・栄養・代謝	2,041
消化器系	1,248
眼・付属器	1,155
神経系	902
腎尿路生殖器	819
呼吸器系	797
皮膚・皮下組織	592
新生物	572
感染症及び寄生虫症	395
損傷・中毒・外因影響	303
精神・行動	276
分類されないもの	185
耳・乳様突起	162
血液・造血・免疫機構	26
先天奇形・染色体異常	2
その他	215
計	15,478



資料：後期高齢者医療制度疾病分類統計表（令和３年５月診療分）

（２）疾病分類別診療費（令和３年５月診療分）

診療費総額は９億3,566万7,030円で、令和２年と比べると約１億7,000万円増加している。疾病分類別に見ると、循環器系が２億860万1,400円と突出して高く、次いで新生物が約１億1,800万円、筋骨格・結合組織が約9,500万円となっている。１件あたりの診療費は、入院では内分泌・栄養・代謝が最も高く、入院外では新生物が最も高い。

疾病分類別　診療費

疾病分類	診療費（円）
循環器系	208,601,400
新生物	118,548,510
筋骨格・結合組織	95,030,250
呼吸器系	94,258,320
内分泌・栄養・代謝	87,313,540
腎尿路生殖器	65,547,110
損傷・中毒・外因影響	53,074,970
消化器系	48,611,050
神経系	48,413,280
精神・行動	39,239,330
眼・付属器	22,790,440
分類されないもの	15,692,310
皮膚・皮下組織	11,859,250
感染症及び寄生虫症	9,013,040
その他	7,768,970
血液・造血・免疫機構	6,462,390
耳・乳様突起	3,403,090
先天奇形・染色体異常	39,780
計	935,667,030

市町別1人当たり診療費

市町名	診療費（円）
永平寺町	74,107
高浜町	70,565
坂井市	**70,499**
福井市	70,431
鯖江市	69,119
県平均	**66,573**
あわら市	66,163
越前町	64,995
大野市	63,771
南越前町	63,304
越前市	61,417
おおい町	60,894
若狭町	60,687
勝山市	60,500
敦賀市	60,137
池田町	59,675
小浜市	59,373
美浜町	57,925

疾病分類別１件あたりの診療費（入院）

疾病分類	診療費（円）
内分泌・栄養・代謝	818,785
新生物	792,212
腎尿路生殖器	780,163
血液・造血・免疫機構	733,098
循環器系	719,790
皮膚・皮下組織	671,267
損傷・中毒・外因影響	663,695
呼吸器系	576,630
分類されないもの	562,045
精神・行動	505,294
筋骨格・結合組織	481,946
神経系	460,614
消化器系	437,036
眼・付属器	312,578
感染症及び寄生虫症	312,410
耳・乳様突起	195,590
先天奇形・染色体異常	0
その他	294,085

疾病分類別１件あたりの診療費（入院外）

疾病分類	診療費（円）
新生物	107,965
血液・造血・免疫機構	103,190
腎尿路生殖器	49,709
内分泌・栄養・代謝	36,262
呼吸器系	30,567
神経系	25,708
循環器系	23,428
筋骨格・結合組織	23,127
消化器系	20,599
分類されないもの	20,413
損傷・中毒・外因影響	20,110
先天奇形・染色体異常	19,890
精神・行動	18,780
感染症及び寄生虫症	18,351
眼・付属器	17,689
耳・乳様突起	15,447
皮膚・皮下組織	12,240
その他	13,988

資料：後期高齢者医療制度疾病分類統計表（令和３年５月診療分）

５．保健事業

１）予防接種事業

（１）定期予防接種

接種人数：人

予防接種名			標準接種年齢	年度	H29	H30	R1	R2	R3
ロタリックス	１回目		0歳	接種人数				121	283
				接種率				41.8%	52.7%
	２回目			接種人数				99	277
				接種率				34.2%	51.6%
ロタテック	１回目		0歳	接種人数				129	301
				接種率				44.6%	56.1%
	２回目			接種人数				101	300
				接種率				34.9%	55.9%
	３回目			接種人数				83	282
				接種率				28.7%	52.5%
Ｂ型肝炎	１回目		0歳	接種人数	613	633	581	558	586
				接種率	94.7%	102.6%	98.1%	96.4%	109.1%
	２回目			接種人数	613	639	571	568	579
				接種率	94.7%	103.6%	96.5%	98.1%	107.8%
	３回目			接種人数	700	630	581	580	545
				接種率	108.2%	102.1%	98.1%	100.2%	101.5%
ヒブ	１期初回	１回目	0歳	接種人数	605	635	581	557	587
				接種率	93.5%	102.9%	98.1%	96.2%	109.3%
		２回目		接種人数	602	636	570	572	581
				接種率	93.0%	103.1%	96.3%	98.8%	108.2%
		３回目		接種人数	622	638	571	585	565
				接種率	96.1%	103.4%	96.5%	101.0%	105.2%
	１期追加		1歳	接種人数	706	654	599	621	567
				接種率	97.2%	95.8%	92.3%	102.3%	95.0%
小児用肺炎球菌	１期初回	１回目	0歳	接種人数	613	634	582	542	587
				接種率	94.7%	102.8%	98.3%	93.6%	109.3%
		２回目		接種人数	608	637	571	555	579
				接種率	94.0%	103.2%	96.5%	95.9%	107.8%
		３回目		接種人数	632	637	577	567	560
				接種率	97.7%	103.2%	97.5%	97.9%	104.3%
	１期追加		1歳	接種人数	708	662	606	611	552
				接種率	97.5%	96.9%	93.4%	100.7%	92.5%
4種混合	１期初回	１回目	0歳	接種人数	598	639	573	572	583
				接種率	92.4%	103.6%	96.8%	98.8%	108.6%
		２回目		接種人数	637	634	581	577	569
				接種率	98.5%	102.8%	98.1%	99.7%	106.0%
		３回目		接種人数	642	641	587	575	565
				接種率	99.2%	103.9%	99.2%	99.3%	105.2%
	１期追加		1歳	接種人数	740	635	658	616	583
				接種率	101.9%	93.0%	101.4%	101.5%	97.7%

予防接種名			標準接種年齢	年度	H29	H30	R1	R2	R3
BCG			0歳	接種人数	657	627	596	572	563
				接種率	101.5%	101.6%	100.7%	98.8%	104.8%
水痘	１回目		1歳	接種人数	702	664	632	597	563
				接種率	96.7%	97.2%	97.4%	98.4%	94.3%
	２回目			接種人数	656	693	626	661	545
				接種率	90.4%	101.5%	96.5%	108.9%	91.3%
麻しん風しん混合	１期		1歳	接種人数	690	653	627	596	558
				接種率	95.0%	95.6%	96.6%	98.2%	93.5%
	２期		6歳	接種人数	786	745	797	696	743
				接種率	97.0%	95.9%	94.9%	95.9%	95.4%
日本脳炎	１期初回	１回目	3歳	接種人数	748	840	757	715	488
				接種率	94.1%	115.5%	102.0%	100.0%	72.0%
		２回目	3歳	接種人数	757	812	752	762	475
				接種率	95.2%	111.7%	101.3%	106.6%	70.1%
	１期追加		4歳	接種人数	840	844	740	739	152
				接種率	103.3%	104.2%	101.8%	100.0%	21.3%
	２期		9歳	接種人数	982	1,084	1,328	1,351	255
				接種率	109.7%	115.7%	155.9%	163.2%	32.0%
２種混合			11歳	接種人数	704	762	755	824	769
				接種率	78.8%	84.1%	84.7%	88.1%	90.3%
子宮頸がん	１回目		13歳	接種人数	2	6	12	130	223
				接種率	0.2%	0.7%	1.3%	14.5%	25.0%
	２回目			接種人数	1	7	7	115	210
				接種率	0.1%	0.8%	0.8%	12.8%	23.5%
	３回目			接種人数	1	4	4	93	154
				接種率	0.1%	0.4%	0.4%	10.3%	17.3%
高齢者インフルエンザ			65歳以上	接種人数	13,022	13,542	14,137	16,883	14,367
				接種率	52.1%	53.5%	55.3%	65.4%	55.2%
高齢者肺炎球菌			65・70・75・80・85・90・95・100歳	接種人数	2,304	2,201	808	1,024	881
				接種率	39.0%	38.6%	70.3%	87.5%	73.5%

（注）

1 本年度より、対象人口算出については厚生労働省「予防接種実施者数」の算出方法に改めた。

2 対象人口（麻しん風しん２期、インフルエンザ以外）は、標準的な接種年齢期間の総人口を坂井市人口集計表（各年１０月１日現在）から求め、これを１２ヶ月相当人口に推計した。

3 接種人数は、地域保健事業報告の「定期の予防接種被接種者数」により計上した。

4 麻しん風しん２期の対象人口は、坂井市人口集計表（各年４月１日現在）から求めた。

5 インフルエンザの対象人口は、６５歳以上の者(坂井市人口集計表（各年１０月１日現在）)及び６０歳以上６５歳未満の者であって、心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する者として厚生労働省令で定める者(地域保健事業報告の「定期の予防接種対象者数」)

6 高齢者肺炎球菌の対象人口は、平成３０年度までは６５歳・７０歳・７５歳・８０歳・８５歳・９０歳・９５歳・１００歳 （坂井市人口集計表（各年１０月１日現在)）の総人口とした。令和元年度からは６５歳（坂井市人口集計表（各年１０月１日現在)）及び６０歳以上６５歳未満の者であって、心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する者として厚生労働省令で定める者(地域保健事業報告の「定期の予防接種対象者数」)とした。

7 対象人口は各年度に新規に予防接種対象者に該当した人口であることに対し、実施人口は各年度における接種対象者全体の中の予防接種を受けた人員であるため、実施率は１００％を越える場合がある。

（２）風しん追加的対策

風しん追加的対策事業	対象者	年度	H29	H30	R1	R2	R3
抗体検査	S37.4.2～S54.4.1の男性	対象者数			10,539	10,519	10,521
		検査人数			780	1,286	357
		検査率			7.4%	12.2%	3.4%
		抗体あり			518	949	258
		抗体なし			262	337	99
風しん５期		接種人数			198	249	104
		接種率			75.6%	73.9%	105.1%

（注）

8　対象者数は４月１日時の対象年齢の人口とした。

9 検査人数、接種人数ともにその年度に検査または接種した人数を計上した。

（３）任意予防接種

予防接種名	助成対象年齢	年度	H29	H30	R1	R2	R3
おたふくかぜ	1歳	接種人数	677	731	646	637	570
		接種率	93.3%	107.0%	99.5%	104.9%	95.5%
こどもインフルエンザ	1歳～就学前	接種人数	2,611	2,674	2,733	2,707	2,105
		接種率	56.2%	58.6%	61.3%	63.5%	51.2%

（注）

10　おたふくかぜの助成対象者は、１歳以上就学前であるが、接種開始年齢の１歳（坂井市人口集計表（各年１０月１日現在））を対象人口とした。

11　こどもインフルエンザの対象人口は、１歳～６歳の総人口を坂井市人口集計表（各年１０月１日現在）から求め、これを１２ヶ月相当人口に推計した。

12　接種人数は、その年度に助成した件数を計上した。

（４）予防接種の変遷

【ロタ】

・令和 2 年 10 月より定期接種開始（令和 2 年 8 月 1 日生まれ以降が対象）

【B 型肝炎】

・平成 28 年 10 月より定期接種開始（平成 28 年 4 月 1 日生まれ以降が対象）

【ヒブ・小児肺炎球菌】

・厚生労働省子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業（ヒブ、小児肺炎球菌、子宮頸がん）が平成 23 年 2 月より開始

・平成 25 年 4 月より定期接種開始

【４種混合・３種混合・ポリオ】

・経口生ポリオワクチンは平成 24 年 8 月末で廃止

・不活化ポリオワクチンは平成 24 年 9 月より開始

・４種混合ワクチンは平成 24 年 11 月より開始

・３種混合ワクチンは、平成 26 年 3 月より製造中止となるが、平成 30 年 1 月より販売再開

【麻しん・風しん】

・麻しん風しん混合ワクチンは平成 18 年より１期・2 期として２回の定期接種開始
麻しん、風しん単項ワクチン接種については平成 18 年度のみ移行期間

・平成 20 年度から５年間（平成 20 年～24 年度）の時限措置で 3 期・4 期の接種を実施
平成 19 年度～20 年度はどちらかに罹患した場合、罹患しなかった方の単項ワクチン接種を可能とした。

【ＢＣＧ】

・対象者は、平成 24 年度まで「生後 6 か月に至るまで」であったが、平成 25 年度から「生後 1 歳に至るまで」に変更となった。

【水痘】

・平成 26 年 10 月より定期接種開始

【日本脳炎】

・平成 17 年より積極的接種勧奨の差し控え
・平成 22 年より第 1 期初回、平成 23 年より第 1 期追加の積極的な接種勧奨を再開
・平成 7 年度～平成 18 年度生まれ（積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した者）は、20 歳になるまで定期接種の対象

【子宮頸がん】

・厚生労働省子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業（ヒブ、小児肺炎球菌、子宮頸がん）が平成 23 年 2 月より開始
・平成 25 年 4 月より定期接種開始
・平成 25 年 6 月より積極的勧奨差し控え
・令和 2 年 10 月より情報提供としてリーフレット等の個別送付
・令和 3 年 10 月より積極的勧奨再開

【高齢者肺炎球菌】

・平成 26 年 10 月より定期接種開始

【風しんの追加的対策事業】

・平成 31 年から令和３年度までの３年間実施
・対象者は昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性
・風しん 5 期の対象者は抗体検査で十分な量の風しんの抗体がない者

【任意予防接種】

・平成 21 年 11 月より流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、こどもインフルエンザの予防接種費の一部助成を開始

【接種体制】

・平成 26 年 10 月より定期予防接種 A 類の福井県内広域化開始
・平成 31 年 4 月より定期予防接種 B 類の福井県内広域化開始

２）母子保健事業

（１） 妊娠届出数

（単位：人）

年度 妊娠週数	H29	H30	R1	R2	R3
満１１週以内	619	560	534	539	528
満１２週～１９週	36	29	33	30	20
満２０週～２７週	3	7	1	2	1
満２８週以上	2	0	2	0	0
出産後	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0
合計	660	596	570	571	549

資料：地域保健・健康増進事業報告

（２）特定不妊治療助成

不妊治療(体外受精および凍結胚移植を含む顕微授精)を受けた人に、助成する事業。

1 回の治療につき 10 万円を限度として、年度内に 2 回まで助成。平成 19 年 5 月より開始。

	H29	H30	R1	R2	R3
実人数(人)	69	67	81	78	87
延べ件数(件)	104	110	132	123	126
助成総額(円)	9,394,975	9,689,425	11,970,220	11,028,927	10,957,571

（３） 妊産婦乳児一般健康診査等

① 妊婦健康診査

平成 18 年度から第 3 子以降の妊婦に妊婦健康診査の費用を 14 回分助成。平成 21 年 1 月からはすべての妊婦に対し 14 回分助成している。また、平成 22 年 10 月から、ヒトＴ細胞白血病ウイルス-1 型（HTLV－１）、平成 23 年 5 月から性器クラミジア検査の助成も開始している。

令和3年度からは産婦健康診査及び新生児聴覚スクリーニング検査も助成を開始している。

	受診票交付数	受診人員	受診結果					
			異常なし	異常あり（件数）				
				計		高血圧等	貧血	その他
前期	551	550	492	延件数	58	1	10	47
				実人員	58			
中期	572	548	432	延件数	116	0	68	48
				実人員	116			
後期	585	564	444	延件数	120	0	55	65
				実人員	120			

資料：令和 3 年度母子保健関係健康診査等実施状況報告

② 産婦健康診査

年度	R3
対象者数(人)	603
受診者数(人)	544

③ 新生児聴覚スクリーニング検査

年度	R3
対象者数(人)	605
受診者数(人)	533

④ 乳児健康診査

1か月児健診、4か月児健診、9～10か月児健診を県内医療機関委託にて実施。

（単位：人）

	対象者数 交付枚数	受診者数	受　診　結　果						
			異常なし	異常あり（件数）					
				計		要指導	要観察	要精検	要治療
1か月児	606	596	467	延件数	147	6	116	7	18
				実人員	129				
4か月児	582	558	483	延件数	82	10	55	2	15
				実人員	75				
9～10か月児	560	501	442	延件数	70	7	42	3	18
				実人員	59				

資料：　令和3年度母子保健関係健康診査等実施状況報告

（4） 育児相談

① 5～6か月児育児相談

5～6か月児とその保護者（家族）が対象。身体測定、個別育児相談、離乳食指導、ブックスタート等を実施。

年度	H29	H30	R1	R2	R3
対象者数(人)	661	638	546	455	552
参加者数(人)	596	566	499	418	500
参加率(%)	90.2	88.7	91.4	91.9	90.6

② ひまわり相談

健診等で心理面や言語面等、発達の遅れについて心配のあるケースに対し、小児科医、臨床心理士、言語聴覚士が個別相談を行う。年 29 回実施。

相談者数	内訳		相談内容
	相談者	延べ人数	
実数　101 人 （延べ 149 人）	小児科医師 心理相談員 言語聴覚士	3 人 79 人 67 人	精神発達の遅れ、精神行動上の異常、言語発達の遅れ、その他

③ 子育て支援センターでの育児相談

市内の子育て支援センターで、個別相談を希望した保護者(家族)に対し、保健師、栄養士が個別相談を行う。

育児相談回数	14 回
個別相談延べ件数	保健師 18 件、栄養士 48 件　（支援センター利用者 98 組中）

（５）1 歳 6 か月児健康診査

種別		H29	H30	R1	R2	R3
該当児数(人)		711	725	558	699	624
受診児数(人)		691	696	533	677	586
受診率(%)		97.2	96.0	95.5	96.9	93.9
異常実人員(人)		260	251	196	258	256
異常総数(述べ数)（件)		354	342	270	360	381
身体面(人)	身体発育の異常	49	31	12	40	35
	熱性けいれん	0	1	2	0	0
	運動機能異常	25	21	17	13	22
	眼科異常	6	6	5	5	4
	てんかん性疾患	0	0	0	0	1
	先天異常	2	1	3	3	2
	耳鼻咽喉科疾患	2	3	2	7	5
	血液疾患	1	4	0	1	1
	皮膚疾患	20	11	6	20	11
	循環器疾患	15	10	6	7	8
	呼吸器疾患	2	2	2	1	1
	消化器疾患	6	5	9	2	3
	泌尿器疾患	6	8	6	6	7
	その他	2	1	2	2	0
精神面(人)	精神発達上の異常 （言葉おくれ・発音不明瞭等）	135	137	109	147	173
	精神行動上の異常 （多動・自閉傾向・吃音等）	34	56	43	52	54

その他（人）			生活リズム 2 母の心身状態 29 育児環境他 9 生活習慣 5 その他 4	母の心身状態 27 育児の心配 3 育児環境他 9 生活習慣 2 その他 4	育児の心配 3 母の心身状態 31 育児環境他 11 生活習慣 1	生活リズム 1 育児の心配 1 母の心身状態 39 育児環境他 10 生活習慣 1 その他 1	生活リズム 2 育児の心配 1 母の心身状態 41 育児環境他 6 その他 4
未受診者把握状況	未受診者数		20	29	25	22	38
	把握数		20	29	25	22	38
	確認方法	家庭訪問	0	1	0	0	0
		電話確認	4	12	8	1	2
		保育所訪問	1	3	0	3	1
		その他	12	13	17	18	35

資料：令和 3 年度 1 歳 6 か月児健診実施状況報告

（6）3 歳児健康診査

種別		H29	H30	R1	R2	R3
該当児数(人)		725	752	725	438	682
受診児数(人)		717	726	699	425	649
受診率(%)		98.9	96.5	96.4	97.0	95.2
異常実人員(人)		266	301	288	207	313
異常総数(述べ数)（件)		370	410	439	305	447
身体面（人）	身体発育の異常	41	43	35	19	31
	熱性けいれん	0	1	2	0	0
	運動機能異常	10	19	15	6	4
	眼科異常	20	15	11	29	46
	てんかん性疾患	0	2	0	1	1
	先天異常	1	4	1	2	1
	耳鼻咽喉科疾患	3	11	1	4	5
	血液疾患	1	2	0	1	1
	皮膚疾患	15	25	16	14	6
	循環器疾患	9	10	10	4	3
	呼吸器疾患	3	5	7	2	4
	消化器疾患	1	5	1	0	4
	泌尿器疾患	40	38	45	45	53
	その他	1	2	5	1	15
精神面（人）	精神発達上の異常 （言葉おくれ・発音不明瞭等）	126	116	142	80	128
	精神行動上の異常 （多動・自閉傾向・吃音等）	62	65	107	38	90

その他（人）			母の心身状態 22 育児環境他 3 生活習慣 6 その他 6	母の心身状態 24 育児環境他 13 生活習慣 1 その他 9	母の心身状態 22 育児環境他 13 生活習慣 4 その他 2	育児の心配 1 母の心身状態 16 育児環境他 5 生活習慣 2 その他 2	生活リズム 2 母の心身状態 33 育児環境他 11 生活習慣 3 その他 6
未受診者把握状況	未受診者数		30	26	26	13	33
	把握数		30	26	26	13	33
	確認方法	家庭訪問	0	1	0	0	0
		電話確認	1	15	4	2	4
		保育所訪問	4	3	0	3	3
		その他	29	7	22	8	26

資料：令和 3 年度 3 歳児健診実施状況報告

（7） 家庭訪問

① 赤ちゃん訪問

出生した児の家庭へ保健師、助産師が訪問し、身体計測、個別相談を行う。

※ 市外へ依頼し、児の状況を把握した数も含む。

年度	対象者数(人)	実施人数(人)	実施率(%)
H29	624	583	93.4
H30	632	597	94.5
R1	603	568	94.2
R2	571	516	90.4
R3	587	557	94.9

② 養育支援訪問

早期に養育支援が必要な家庭（妊産婦・新生児及び乳児・またはその家族）に対し保健師、助産師が訪問し、養育に関する個別相談、指導、支援を行う。

年度	実施人数（人）				
R3	ア	イ	ウ	エ	合計
	19	21	0	0	40

※延べ人数を掲載

（ア）若年の妊婦、妊婦健診未受診及び望まない妊娠等、妊娠期からの継続的な支援を特に要する家庭。

（イ）出産後間もない時期（概ね 1 年程度）の養育者が、育児ストレス、産後うつ状態、育児ノイローゼ等の問題によって、子育てに対して強い不安や孤立感等を抱える家庭。

（ウ）食事、衣服、生活環境等について、不適切な養育状態にある家庭等、虐待のおそれやそのリスクを抱え、特に支援が必要と認められる家庭。

（エ）児童養護施設等の退所又は里親委託の終了により、児童が復帰した後の家庭。

（８）両親学級　「パパママレッスン」

妊娠５か月以上の妊婦や夫(または家族)に対し、異なる内容で２コース設け、予約制で実施。妊娠から出産について必要な知識の啓発をし、出産、育児への理解を深める。(定員 10 組)

会場	坂井健康センター	
コース	Ａコース	Ｂコース
回数	年３回	年３回
内容	・助産師とのフリートーク ・妊娠中の栄養について	・講座「赤ちゃんが生まれるまでにできること」 ・お世話体験（沐浴・ミルク作成）
スタッフ	助産師、管理栄養士、保健師	講師：舘直宏氏(NPO 法人おっとふぁーざー代表)、保健師、管理栄養士

年度		H29	H30	R1	R2	R3
参加人数(人)		103	111	120	62	106
妊婦 (再掲)	妊婦数	61	68	70	38	61
	うち初産婦数	59 (96.7%)	62 (91.2%)	66 (94.3%)	38 (100%)	61 (100%)
夫等の数(再掲)		42	43	50	24	45

※延べ人数を掲載

（９）思春期の保健

身体的、精神的に変化の著しい思春期において、生徒自身が生命誕生の仕組みや自分自身の身体のことについて学習する機会として、生命の尊厳や父性、母性の意識を高めるために、市内５か所の中学校を対象に実施を募った。

年度	対象	講義テーマ	講師名
R3	丸岡中学３年 150 人	・エイズおよび性感染症の現状 ・性行動がもたらすトラブル ・今後の生き方について	猪原　直美
	丸岡中学２年 205 人	・子宮内での胎児の成長の様子 ・生命誕生の様子 ・誕生後の赤ちゃんの様子	笹下　弘子
	丸岡南中学３年 132 人	・大切にしよう、思春期の心と体	鈴木　綾子
	丸岡南中学全学年 348 人	・生理用品を当たり前に。～トイレットペーパーが当たり前にあるように～	髙橋　美恵子 髙橋　守

	春江中学2・3年　514人	・第二次性徴について、心のコントロールについて、思春期に多い性の悩みについて（2年生） ・異性とのかかわりや望ましい関係について、思春期に多い性の悩みについて（3年生）	徳永　桂子

(10) 歯と離乳食の相談会

平成 21 年より、適切な口腔ケアの方法や虫歯や歯の健康づくりについて学ぶとともに、離乳食（後期）の心配を解消し、離乳食から幼児食の移行がスムーズにすすめられるように、教室を実施。令和３年度より歯科衛生士、保健師、管理栄養士による個別相談を行っている。(定員 30 組)

年度	H29	H30	R1	R2	R3
回数（回）	5	5	4	4	5
参加者数(組)	127	130	94	105	91
個別相談数	60	41	33	89	109

(11) 産後ケア事業

令和２年より出産後母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに母親自身がセルフケア能力をはぐくみ、母子として健やかな育児ができるように支援するために実施。

家族等からの援助が乏しく心身の不調や育児不安がある産婦を対象に専門機関に委託して産後の支援の充実を図る。

種類	R2	R3
宿泊型	1	21
通所型	8	0
訪問型	8	7

※延べ人数を掲載

３）健康増進事業

（１）健康手帳の活用の周知

市民が、健康手帳をダウンロードし、特定健診・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に活用できるよう周知する。

（H27 年度より、前期高齢者受給者交付時の配布を廃止）

（H29 年度より、厚生労働省のホームページで、健康手帳の様式を配信開始）

（２）健康教育

生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資するために行う。

① 健康づくりサポート講座

40～74 歳までの坂井市民を対象に、医師、管理栄養士等による集団指導を行い、健康づくりについて学ぶとともに、生活習慣の改善を行えるようなきっかけづくりを支援する（健康サポーター養成講座を兼ねる）。

実施回数	参加者（人）	参加者延べ（人）
4 回	26	66

② 出前健康講座の開催

まちづくり協議会やコミュニティセンター等の地域が主体となって企画する事業などに出向き、保健師、健康運動指導士による健康教育を行い、自分の体の状態を理解し、生活習慣の改善を援助する。

実施回数	年齢区分	参加者（人）
5 回	39 歳以下	58
	40～64 歳	48
	65 歳以上	64

③ 特定健診後の健康教室（国保保健事業）

国民健康保険の被保険者を対象に、高血圧予防を主とした生活習慣病の予防のために、食事や運動など正しい知識を提供する。

実施回数	延べ参加者（人）
14 回	160

（３）健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理を手助けするために行う。

地区からの依頼によるもの、健康教室実施時の個別相談、健康フェスタ開催時の相談、随時の窓口相談等がある。

	実施回数	年齢区分	参加者（人）
重点健康相談	1	39 歳以下	0
		40～64 歳	1
		65 歳以上	17
総合健康相談	2	39 歳以下	0
		40～64 歳	5
		65 歳以上	9

（４）健康アプリ

「歩くことをもっと楽しく」をスローガンに、令和２年９月より坂井市健康アプリ「歩こっさ＋（プラス)」を公開。市民の健康づくりに関する取り組みに対して、「ポイント」を付与し、貯まったポイントで特典に応募できる仕組みを通じて、身近で気軽に楽しみながら健康づくりに取り組むことを推進する。

（単位：人）

	R4.3 月末
新規ダウンロード者数	6,409

（５）健康診査

① 基本健康診査・後期高齢者健康診査・人間ドック

20歳～39歳の人で､職場等で健診の機会のない者に対し基本健康診査を実施する｡また、後期高齢者医療被保険者に対し、健診を実施する。

（単位：人）

対象者	受診者数	内　訳			
		健診種別	男	女	計
20～39 歳	235	集団	88	72	160
		個別	12	49	61
		ドック(国保)	6	8	14
後期高齢者医療被保険者	1,646	集団	311	311	622
		個別	395	518	913
		ドック	75	36	111

② 特定健康診査・特定保健指導

高齢者の医療の確保に関する法律の施行に伴い、坂井市国民健康保険被保険者に対し、特定健康診査・特定保健指導を実施している。

特定健康診査受診状況

年齢区分	対象者数（人）	受診者数（人）					受診率（%）
		集団健診	個別健診	ドック	その他	計	
40～64 歳	3,454	275	365	149	4	793	23.0
65～74 歳	6,974	719	1,103	456	211	2,489	35.7
合計	10,428	994	1,468	605	215	3,282	31.5

「法定報告」、市保険年金課調べ

※その他は、情報提供など

特定保健指導状況

区分	対象者数（人）	終了者数（人）	実施率（%）
積極的支援	86	11	12.8
動機づけ支援	309	80	25.9
合計	395	91	23.0

「法定報告」より

特定健診　有所見者状況（男女別・年代別）

（令和3年度）

男性

	受診者数	摂取エネルギーの過剰										血管を傷つける										メタボリックシンドローム以外の動脈硬化要因		臓器障害（※は詳細検査）					
		BMI 25以上		腹囲 85cm以上		中性脂肪 150mg以上		ALT(GPT) 31U/L以上		HDLコレステロール 40mg未満		血糖 空腹100mg以上		HbA1c 5.6%以上		（尿酸） 7.1mg以上		収縮期血圧 130mmHg以上		拡張期血圧 85mmHg以上		LDLコレステロール120mg以上		血清クレアチニン 1.3mg以上		eGFR※ 60未満		心電図※	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
40歳代	131	48	36.6	57	43.5	46	35.1	46	35.1	4	3.1	14	10.7	35	26.7	22	16.8	37	28.2	25	19.1	73	55.7	1	0.8	8	6.1	16	12.2
50歳代	146	52	35.6	73	50.0	52	35.6	45	30.8	11	7.5	28	19.2	55	37.7	31	21.2	63	43.2	45	30.8	76	52.1	1	0.7	17	11.6	24	16.4
60歳代	456	159	34.9	254	55.7	157	34.4	111	24.3	29	6.4	124	27.2	273	59.9	64	14.0	286	62.7	131	28.7	210	46.1	8	1.8	95	20.8	130	28.5
70～74歳	694	213	30.7	368	53.0	197	28.4	105	15.1	48	6.9	175	25.2	417	60.1	67	9.7	410	59.1	128	18.4	282	40.6	20	2.9	219	31.6	221	31.8
合計	1,427	472	33.1	752	52.7	452	31.7	307	21.5	92	6.4	341	23.9	780	54.7	184	12.9	796	55.8	329	23.1	641	44.9	30	2.1	339	23.8	391	27.4

女性

	受診者数	摂取エネルギーの過剰										血管を傷つける										メタボリックシンドローム以外の動脈硬化要因		臓器障害（※は詳細検査）					
		BMI 25以上		腹囲 90cm以上		中性脂肪 150mg以上		ALT(GPT) 31U/L以上		HDLコレステロール 40mg未満		血糖 空腹100mg以上		HbA1c 5.6以上		（尿酸） 7.1以上		収縮期血圧 130以上		拡張期血圧 85以上		LDLコレステロール120mg以上		血清クレアチニン1.0mg以上		eGFR※ 60未満		心電図※	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
40歳代	114	18	15.8	9	7.9	9	7.9	4	3.5	2	1.8	2	1.8	20	17.5	0	0.0	16	14.0	8	7.0	37	32.5	0	0.0	4	3.5	10	8.8
50歳代	152	31	20.4	24	15.8	23	15.1	21	13.8	3	2.0	19	12.5	53	34.9	4	2.6	55	36.2	31	20.4	88	57.9	2	1.3	21	13.8	22	14.5
60歳代	752	125	16.6	104	13.8	147	19.5	77	10.2	9	1.2	106	14.1	401	53.3	11	1.5	369	49.1	136	18.1	447	59.4	7	0.9	119	15.8	145	19.3
70～74歳	835	170	20.4	145	17.4	196	23.5	89	10.7	13	1.6	216	25.9	466	55.8	12	1.4	479	57.4	125	15.0	471	56.4	7	0.8	208	24.9	172	20.6
合計	1,853	344	18.6	282	15.2	375	20.2	191	10.3	27	1.5	343	18.5	940	50.7	27	1.5	919	49.6	300	16.2	1,043	56.3	16	0.9	352	19.0	349	18.8

総数

	受診者数	摂取エネルギーの過剰										血管を傷つける										メタボリックシンドローム以外の動脈硬化要因		臓器障害（※は詳細検査）					
		BMI 25以上		腹囲 90以上		中性脂肪 150以上		ALT(GPT) 31以上		HDLコレステロール 40未満		血糖 空腹100mg以上		HbA1c 5.6以上		（尿酸） 7.1以上		収縮期血圧 130以上		拡張期血圧 85以上		LDLコレステロール120mg以上		血清クレアチニン		eGFR※ 60未満		心電図※	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
40歳代	245	66	26.9	66	26.9	55	22.4	50	20.4	6	2.4	16	6.5	55	22.4	22	9.0	53	21.6	33	13.5	110	44.9	1	0.4	12	4.9	26	10.6
50歳代	298	83	27.9	97	32.6	75	25.2	66	22.1	14	4.7	47	15.8	108	36.2	35	11.7	118	39.6	76	25.5	164	55.0	3	1.0	38	12.8	46	15.4
60歳代	1,208	284	23.5	358	29.6	304	25.2	188	15.6	38	3.1	230	19.0	674	55.8	75	6.2	655	54.2	267	22.1	657	54.4	15	1.2	214	17.7	275	22.8
70～74歳	1,529	383	25.0	513	33.6	393	25.7	194	12.7	61	4.0	391	25.6	883	57.8	79	5.2	889	58.1	253	16.5	753	49.2	27	1.8	427	27.9	393	25.7
合計	3,280	816	24.9	1,034	31.5	827	25.2	498	15.2	119	3.6	684	20.9	1,720	52.4	211	6.4	1,715	52.3	629	19.2	1,684	51.3	46	1.4	691	21.1	740	22.6

※市保険年金課調べ「情報提供者等」除く

（６）各種がん検診

受診者数および精密検査結果　（単位：人）

年度				H29	H30	R1	R2	R3
胃がん検診	受診総数	集団検診（Ｘ線）		497	673	591	0	530
		個別検診	Ｘ線	70	106	56	115	150
			内視鏡（H28 年度から開始、50 歳以上対象）	347	512	439	377	676
	４０歳以上（３０年度から５０歳以上）	対象者数		23,829	22,400	22,400	22,400	22,648
		集団検診受診者数		476	673	464	0	429
		個別検診受診者数		417	563	464	452	759
		受診率（%）		3.7	5.5	4.1	2.0	5.2
		要精密検査者		160	119	79	27	83
		要精密検査者割合（%）		17.9	9.6	8.5	6.0	6.9
		精密検査受診者		146	99	70	21	68
		精密検査受診者割合（%）		91.3	83.2	88.6	77.8	81.9
		精密検査結果内訳	異常認めず	23	20	9	2	4
			がんであった者	10	0	2	2	2
			がん以外の疾患の者	113	79	59	17	62
			未受診・未把握	14	20	9	6	15
大腸がん検診	受診総数	集団検診		3,385	3,472	3,561	996	2,131
		個別検診		557	666	658	746	1,250
	４０歳以上	対象者数		23,829	23,829	23,829	23,829	24,504
		集団検診受診者数		3,300	3,384	3,484	968	2,098
		個別検診受診者数		557	665	658	725	1,241
		受診率（%）		16.2	17.0	17.4	7.1	13.6
		要精密検査者		212	221	220	81	152
		要精密検査者割合（%）		5.5	5.5	5.3	4.8	4.5
		精密検査受診者		165	173	165	64	104
		精密検査受診者割合（%）		77.8	78.3	75.0	79.0	68.4
		精密検査結果内訳	異常認めず	44	33	33	13	20
			がんであった者	7	16	12	3	8
			がん以外の疾患の者	114	124	120	48	76
			未受診・未把握	47	48	55	17	48

福井県健康管理協会調べ

（単位：人）

年度				H29	H30	R1	R2	R3
肺がん検診	受診総数	集団検診		4,683	4,428	4,389	0	2,039
		個別検診		725	845	877	1,258	1,434
	40歳以上	対象者数		23,829	23,829	23,829	23,829	24,504
		集団検診受診者数		4,366	4,166	4,129	0	1,908
		個別検診受診者数		725	843	876	1,221	1,424
		受診率（%）		21.4	21.0	21.0	5.3	13.6
		要精密検査者		342	317	309	45	175
		要精密検査者割合（%）		6.7	6.3	6.2	3.7	5.3
		精密検査受診者		269	228	234	30	104
		精密検査受診者割合（%）		78.7	71.9	75.7	66.7	59.4
		精密検査結果内訳	異常認めず	117	84	96	13	56
			がんであった者	6	6	1	0	0
			がん以外の疾患の者	146	138	137	17	48
			未受診・未把握	73	89	75	15	71
肺がん検診（喀痰）	受診総数	集団検診		31	19	17	0	2
		個別検診		25	14	15	8	8
	40歳以上	対象者数		23,829	23,829	23,829	23,829	24,504
		集団検診受診者数		31	17	17	0	2
		個別検診受診者数		25	14	15	8	8
		要精密検査者		0	0	0	0	0
		要精密検査者割合（%）		0	0	0	0	0
		精密検査受診者		0	0	0	0	0
		精密検査受診者割合（%）		0	0	0	0	0
		精密検査結果内訳	異常認めず	0	0	0	0	0
			がんであった者	0	0	0	0	0
			がん以外の疾患の者	0	0	0	0	0
			未受診	0	0	0	0	0

福井県健康管理協会調べ

＊胃がんの対象年齢：H30 年度から 50 歳以上に変更（福井県の対象者年齢と統一）

（単位：人）

年度			H29	H30	R1	R2	R3
子宮がん検診	対象者		16,897	16,897	16,897	16,897	16,780
	受診者	集団検診	1,019	826	996	31	498
		個別検診	1,692	1,790	1,887	813	2,656
		総数	2,711	2,616	2,883	844	3,154
	受診率（%）		16.0	15.5	17.1	5.0	18.8
	要精密検査者		109	55	60	18	53
	要精密検査者割合（%）		4.0	2.1	2.1	2.1	1.7
	精密検査受診者		97	45	24	9	13
	精密検査受診者割合（%）		90.0	81.8	40.0	50.0	24.5
	精密検査結果内訳	異常認めず	34	13	1	0	1
		がんであった者	2	0	1	0	0
		がん以外の疾患の者	61	22	22	9	12
		未受診・未把握	12	10	36	9	40
乳がん検診	対象者		14,989	14,989	14,989	14,989	14,892
	受診者	集団検診	1,068	1,003	1,069	37	706
		個別検診	1,078	1,219	1,246	735	1,611
		総数	2,146	2,222	2,315	772	2,317
	受診率（%）		14.3	14.9	15.4	5.2	15.6
	要精密検査者		118	152	139	49	125
	要精密検査者割合（%）		5.5	5.6	6.0	6.3	5.4
	精密検査受診者		110	137	128	45	112
	精密検査受診者割合（%）		93.2	90.1	92.1	91.8	89.6
	精密検査結果内訳	異常認めず	42	52	62	17	45
		がんであった者	9	13	8	2	6
		がん以外の疾患の者	59	72	58	26	61
		未受診・未把握	8	15	11	4	13

福井県健康管理協会調べ

＊子宮がん･乳がん受診率・・2年連続受診者を含む

＊妊婦健診は除く

（単位：人）

前立腺がん検査	年度		H29	H30	R1	R2	R3
	受診者		1007	872	928	0	439
	結果	異常認めず	928	793	825	0	394
		要精密検査	79	79	103	0	45

＊令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため集団健診を中止したことにより実績なし

（７）胃がんリスク血液検査

ピロリ菌抗体検査、ペプシノゲン検査を実施し、胃がんになるリスクの判定を行う。

（単位：人）

年度	受診者数	判定Ａ	判定Ｂ	判定Ｃ	判定Ｄ
H30	652	297	226	114	15
R1	264	138	84	36	6
R2	0	0	0	0	0
R3	328	199	76	44	9

＊平成 27 年度より胃がんリスク血液検査事業実施。判定 B・C・D は要精検。

＊令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため集団健診を中止したことにより実績なし

（８）血液中アミノ酸濃度測定検査費助成

血液中のアミノ酸濃度を測定することで、がんに罹患しているリスクを評価する検査にかかる費用の一部を助成。ひとり年１回限り。

（実施機関：坂井市立三国病院、H28 より宮崎病院、春江病院）

（単位：人）

年度	男性 5 種	女性 6 種	計
H30	19	38	57
R1	19	24	43
R2	13	10	23
R3	8	13	21

＊平成 27 年度より県内市町初実施。市単独事業。

＊平成 28 年度より検査種類変更。

（９）肝炎ウイルス検査

肝炎ウイルス検査及び肝炎ウイルス検査の結果に基づく指導を行う。

① Ｃ型肝炎ウイルス検査　（単位：人）

		H29	H30	R1	R2	R3
受診者	節目対象者	697	649	786	0	337
	節目対象外者	47	66	111	0	72
	総数	744	715	897	0	409
結果	①　（陽性）	2	0	1	0	0
	②　（陽性）	0	1	1	0	0
	③　（陰性）	2	2	3	0	3
	④（陰性）	740	712	892	0	406

＊補助金対象外の受診者数も含む

＊平成 29 年度から無料検査勧奨の送付方法を変更（特定健診とがん検診通知に同封せず単独発送に）

＊令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため集団健診を中止したことにより実績なし

＊令和 3 年度の節目対象者は令和 2 年度の節目対象者も含む

② Ｂ型肝炎ウイルス検査　（単位：人）

		H29	H30	R1	R2	R3
受診者	節目対象者	687	655	788	0	335
	節目対象外者	108	128	258	0	210
	総数	795	783	1,046	0	545
結果	陽性	6	0	4	0	2
	陰性	789	783	1,042	0	543

4）介護予防事業

（1）音楽・体操いきいき教室

生活総合機能改善機器を利用し、介護予防と健康づくりを目的に各コミュニティセンターにおいて月 2 回の教室を開催する。健康運動指導士、栄養士、歯科衛生士などが運動、栄養改善・口腔機能向上、レクレーション等のメニューを実施する。

※R3 年度：新型コロナウイルス感染予防のため月 2 回⇒月 1 回（定員を減らし会場増やして実施）

会　場	実施回数（回）	参加実人数(人)	参加延人数（人）
三国	143 回（13 会場）	153	1,198
丸岡	143 回（13 会場）	137	1,159
春江	132 回（12 会場）	12	795
坂井	88 回（8 会場）	85	708
合計	506 回（46 会場）	472	3,860

高齢福祉課調べ

（2）介護予防講師派遣事業

介護予防に関する知識の普及・啓発を行い将来の要介護状態への移行遅延を図る事を目的とし、老人クラブや高齢者の所属する団体に講師を派遣し、転倒予防・認知症予防・低栄養予防等に効果的な体操の実施や講話・調理実習等を行う。

① 出前講座

実施会場数	参加延べ人数（人）
38	628

高齢福祉課調べ

② 自主グループ

自主グループ名称	内容	活動日	実人数（人）
るんるんダンベルの会	ダンベル体操、ウオーキング等	月 2 回	12
はつらつミセスの会	健康に関する学習会、軽体操等	月 1 回	18
筋力アップの会	筋トレやヨガ、リズム体操等	月 2 回	17
城北地区健康推進グループ	介護予防体操等	月 1 回	13
いねす会	男性料理	月 1 回	14
まないた会	男性料理	休会	
オニオンクラブ	男性料理	月 1 回	12

（３）通いの場事業

地域住民の主体的な活動として、地域の身近な場（区民館など）を通いの場として利用し、地域の高齢者を対象に運動やコミュニケーション活動を行う。

実施地区数
8

（内１地区は新型コロナウイルス感染予防のため活動自粛）

高齢福祉課調べ

（４）フレイル予防事業

市民を対象にフレイルサポーターを養成し、フレイルチェック教室、フレイル予防出前講座をフレイルサポーターが主体となって実施することを支援することで、地域全体のフレイル予防の意識の啓発、市民自身の自立支援につなげる。

① フレイルサポーター登録者数（養成開始年度：平成 29 年度）

平成 29 年度フレイルサポーター養成講座（坂井地区介護保険広域連合主催）の受講者が、フレイルサポーターとして登録した。登録後は、ステップアップ研修（坂井地区介護保険広域連合主催）を経て、坂井地区でのフレイルチェックにて活動した。

	三国	丸岡	春江	坂井	合計（人）
１期生	4	4	3	2	13
２期生	5	2	0	1	8
３期生	3	10	4	4	21
４期生	3	12	2	2	19
５期生 （令和３年度養成）	0	2	1	1	4
合計	12	30	10	10	65

② 内容

フレイルサポーターステップアップ研修（坂井地区介護保険広域連合主催）

実施日	内　　容	参加者 （人）
10 月 18 日	ステップアップ研修	16

フレイルチェックの実施

実施日	会場	参加者（人）
7 月 21 日	坂井健康センター	7
7 月 30 日	三国コミュニティセンター	7
8 月 4 日	高椋コミュニティセンター	8
8 月 20 日	春江保健センター	16
9 月 21 日	京町ふれあい会館	18
10 月 28 日	春日野区民会館	12
11 月 19 日	三国コミュニティセンター	16
12 月 10 日	坂井健康センター	17
R4 年 3 月 10 日	高椋コミュニティセンター	15
R4 年 3 月 16 日	春江保健センター	10

フレイル予防出前健康教室（フレイルトレーナー実施）

実施日	会場	参加者（人）
R4 年 3 月 9 日	大関コミュニティセンター	45
R4 年 3 月 27 日	緑区ふれあい会館	21

フレイル予防サポーター出前講座

実施日	会場	参加者（人）

※実施なし

5）歯科保健事業

（1）母子の歯科保健（令和３年度）

① 母子のむし歯予防対策

月日	対象	場所	人数	内容
通年	1 歳 6 か月児健診受診者	各保健センター	245 人	歯科衛生士による幼児の歯のケア、むし歯予防や歯の健康づくりの指導
通年	3 歳児健診受診者	各保健センター	210 人	歯科衛生士による幼児の歯のケア、むし歯予防や歯の健康づくりの指導

② 各健診におけるむし歯の罹患状況

			H29	H30	R1	R2	R3
1歳6か月児健診	対象者数（人）		711	725	558	699	624
	受診者数（人）		691	695	533	677	586
	受診率（%）		97.2	95.9	95.5	96.9	93.9
	歯科所見	むし歯のない者（人）	687	692	533	646	583
		むし歯のある者（人）	4	3	0	9	3
		むし歯のある者の率（%）	0.6	0.4	0	1.3	0.5
		むし歯の総本数（本）	9	8	0	24	14
		軟組織の異常（人）	8	2	23	0	0
		咬合異常（人）	41	31	45	67	37
		その他（人）	48	50	41	53	50

			H29	H30	R1	R2	R3
3歳児健診	対象者数（人）		725	752	725	438	682
	受診者数（人）		695	726	699	425	649
	受診率（%）		95.9	96.5	96.4	97.0	95.2
	歯科所見	むし歯のない者（人）	604	645	625	361	563
		むし歯のある者（人）	109	81	74	64	86
		むし歯のある者の率（%）	15.7	11.2	10.6	15.1	13.3
		むし歯の総本数（本）	254	81	204	152	273
		軟組織の異常（人）	0	0	0	0	0
		咬合異常（人）	60	69	63	46	46
		その他（人）	46	50	60	32	46

（２）成人の歯科保健

① 歯科健診・歯科相談

集団健診の会場にて歯科健診と歯科相談を行う。

（単位：人）

年度		H29	H30	R1	R2	R3
回数		23	21	22	0	4
受診者		303	256	253	0	50
結果	異常認めず	56	60	76	0	13
	要指導者	0	0	0	0	0
	要精検者	241	196	167	0	37

※令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため集団健診を中止したことにより実績なし

６）食育推進事業

住民のライフサイクルに沿った食育や栄養指導を実施した。

事　業　名		内　容	回数（回）	人数（人）
母子	パパママレッスン	妊娠中の食事について教室・試食	3	44
	５～６ヶ月児育児相談	離乳食について個別相談	36	500
	１歳６ヶ月児健診	幼児期の食事について個別相談	22	206
	３歳児健診	幼児期の食事について個別相談	21	152
	歯と離乳食の相談会	9～11 か月児の離乳食個別相談	5	43
	子育て支援センター食育講座	保健相談日離乳食個別相談	8	46
	幼児期からのよい食育講座	５歳児対象料理教室	4	114
	個別栄養相談	来庁・ＴＥＬ・メール等からの相談	29	29
成人	病態別（糖尿病教室）	糖尿病予防教室	1	21
	健康サポーター講座	健康サポーター対象講座	2	39
	食生活改善推進員養成講習会	食生活改善推進員を養成するための講習	5	21
	健康出前講座	地区・施設等からの依頼教室	1	30
	個別栄養相談	来庁・ＴＥＬ・メール等からの相談	4	4
	個別栄養相談	来庁・ＴＥＬ・メール等からの相談	4	4
その他	郷土料理講習会		3	54
	広報献立掲載（健康料理普及）		8	
	坂井市食育市民ネットワーク研修会		2	97
	坂井市食育市民ネットワーク広報		3	
	広報掲載（健康アドバイス）		1	

６．医療体制

１）医療施設・医療従事者

医療施設数

令和４年３月 31 日現在

医療施設数	病院	4
	一般診療所	48
	歯科診療所	26
病床数	病院	346
	一般診療所	55

医療従事者数（隔年調べ）

令和２年 12 月 31 日現在

医療従事者数	医師	75
	歯科医師	33
	薬剤師	128
	保健師	37
	助産師	5
	看護師	464
	准看護師	216

資料：坂井健康福祉センター令和４年「事業概要」より

２）救急医療体制

（１）在宅当番医制事業

休日、祝日、年末年始の休日の診療を坂井地区医師会（坂井市、あわら市）に委託して行う。時間は９時～１７時。

年度	受診者数（人）			当番医療機関数		
	内科系	外科系	合計	内科系	外科系	合計
H29	2,228	770	2,998	39	14	53(6)
H30	2,390	939	3,329	38	14	52(6)
R元	2,640	924	3,564	38	14	52(6)
R2	951	617	1,568	39	13	52(6)
R3	1,286	637	1,923	40	13	53(6)

初期救急の在宅当番医による患者数（受診者数は坂井市、あわら市の計）

当番医療機関数合計の（　）は、内科系、外科系の両方を行う医療機関

（２）病院群輪番制事業

休日、祝日、年末年始の重症患者の診療を行う。時間は８時～翌日８時。

年度	総数	県立病院	福大付属	日赤	済生会	公立丹南	福井総合	福井勝山総合
H29	53	13	19	4	8	0	9	0
H30	38	10	10	6	7	0	5	0
R元	45	6	16	2	14	0	7	0
R2	36	1	18	3	10	0	4	0
R3	40	8	7	5	7	0	13	0

二次救急の当番日における坂井市民の受け入れ（救急車）実績

（３）小児救急医療支援事業

小児の夜間の診療を行う。時間は１８時～８時。

年度	総数	県立病院	福大付属	日赤	済生会
H29	344	152	122	28	42
H30	359	143	142	33	41
R元	332	134	131	19	48
R2	159	53	60	19	27
R3	253	85	86	28	54

小児救急の当番日における坂井市民受け入れ実績